

霧島山（新燃岳）噴火に伴う土砂災害に関する緊急調査結果報告

平成23年2月4日

国土交通省九州地方整備局

調査結果

霧島山(新燃岳)噴火に伴う降灰地域が、今後の降雨によって土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、国土交通省九州地方整備局は、(独)土木研究所と共同で、宮崎県内の土石流危険渓流を対象に、火山灰等の堆積に起因した土石流による重大な土砂災害の危険性について緊急調査を実施していたところですが、このたび調査結果がまとまったため、下記のとおり情報提供しますので、参考にして下さい。

(1)降灰により土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険渓流の抽出

平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査の結果による 1 月 29 日時点での降灰の分布に基づき、宮崎県内における、下記の条件を満たす土石流危険渓流を抽出した結果、別紙様式①「降灰により土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険渓流の抽出結果」の通り、35 渓流を抽出しました。

火山灰の堆積状況:噴火により、土石流危険渓流の流域のおおむね 5 割以上の面積で、火山灰が 1 cm 以上の厚さで堆積していると推計されること。

被災対象の状況:土石流危険渓流の想定氾濫区域内ある建築物の数が概ね 10 以上であること。

(2)降灰により土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険渓流の想定氾濫区域

抽出された土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険渓流について、以下に示す前提条件に基づき、数値氾濫シミュレーションを実施した結果、雨が降った場合に発生する土石流による想定氾濫区域は、別紙様式②「土石流想定氾濫区域図」に示すとおりです。

想定降雨条件:AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))

地形の条件:国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ

氾濫範囲設定条件:粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲

※なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、小規模な地形や、橋梁、築堤、水路等が正確に再現されていない場合があります。

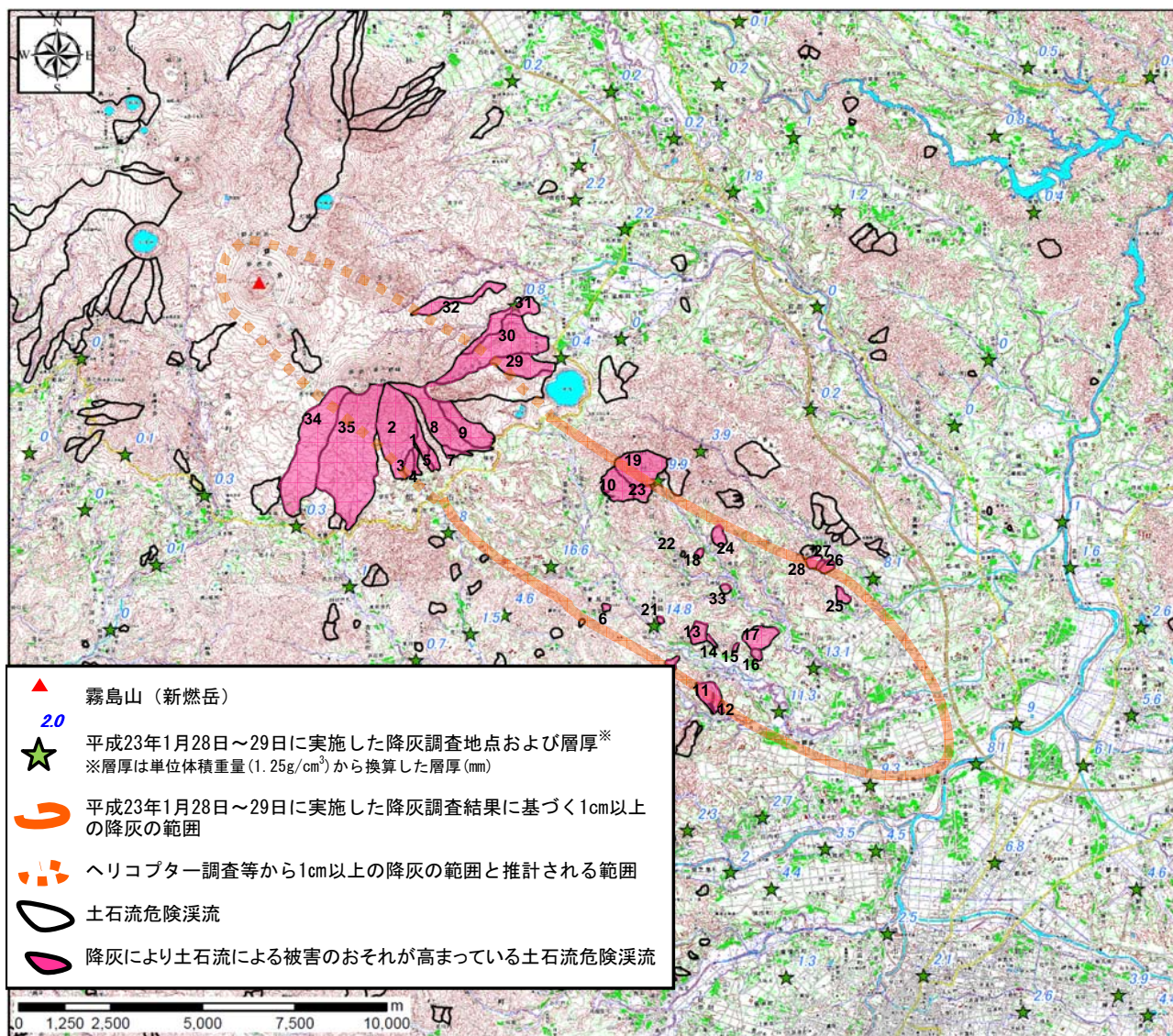
(3)避難のための参考となる雨量基準

噴火後に土石流を発生させた過去の降雨データを参考とすると、4mm/hr 以上の強度の降雨が予測される際には、(1)で抽出された降灰により土石流による被害のおそれが高まっている渓流においては土石流の発生が切迫していると判断されることから、避難勧告等を発する上での参考にして下さい。

(4)降灰が確認されているが土石流による被害想定区域の解析を行っていない地域での留意事項

また、上記以外の、降灰調査の結果、降灰厚さが 1cm 未満の範囲内に位置する土石流危険渓流(別紙様式①において着色されていない土石流危険渓流)においても、通常の降雨量より少ない降雨により土石流が発生するおそれがあります。

降灰により土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険溪流の抽出結果



番号	土石流危険溪流番号	溪流名
1	04-202-1-017	東田野谷
2	04-202-2-020	望原谷1
3	04-202-2-021	望原谷2
4	04-202-2-022	望原谷3
5	04-202-2-023	中山谷2
6	04-202-2-504	馬渡川2
7	04-202-2-505	横尾川1
8	04-202-2-506	横尾川2
9	04-202-2-507	横尾川3
10	04-202-2-508	東牛ノ脛
11	04-344-1-503	古江川3
12	04-344-1-504	古江川4
13	04-344-1-505	城ヶ尾川2
14	04-344-1-506	下是位川内川1
15	04-344-1-507	下是位川内川4
16	04-344-1-508	浜之段川
17	04-344-1-509	瀬之口川
18	04-344-1-511	石風呂川1
19	04-344-1-512	山田川
20	04-344-2-501	池之原川
21	04-344-2-502	上是位川内川
22	04-344-2-503	上椎屋川
23	04-344-2-504	石風呂川2
24	04-344-2-506	石風呂川3
25	04-344-2-507	修行川
26	04-344-2-508	和田ノ上川7
27	04-344-2-509	和田ノ上川8
28	04-344-2-510	和田ノ上川6
29	05-361-1-503	祓川
30	05-361-2-503	御池川1
31	05-361-2-504	皇子川1
32	05-361-2-505	皇子川2
33	04-344-1-510	平山川
34	04-202-2-014	武床谷
35	04-202-1-015	荒襲谷

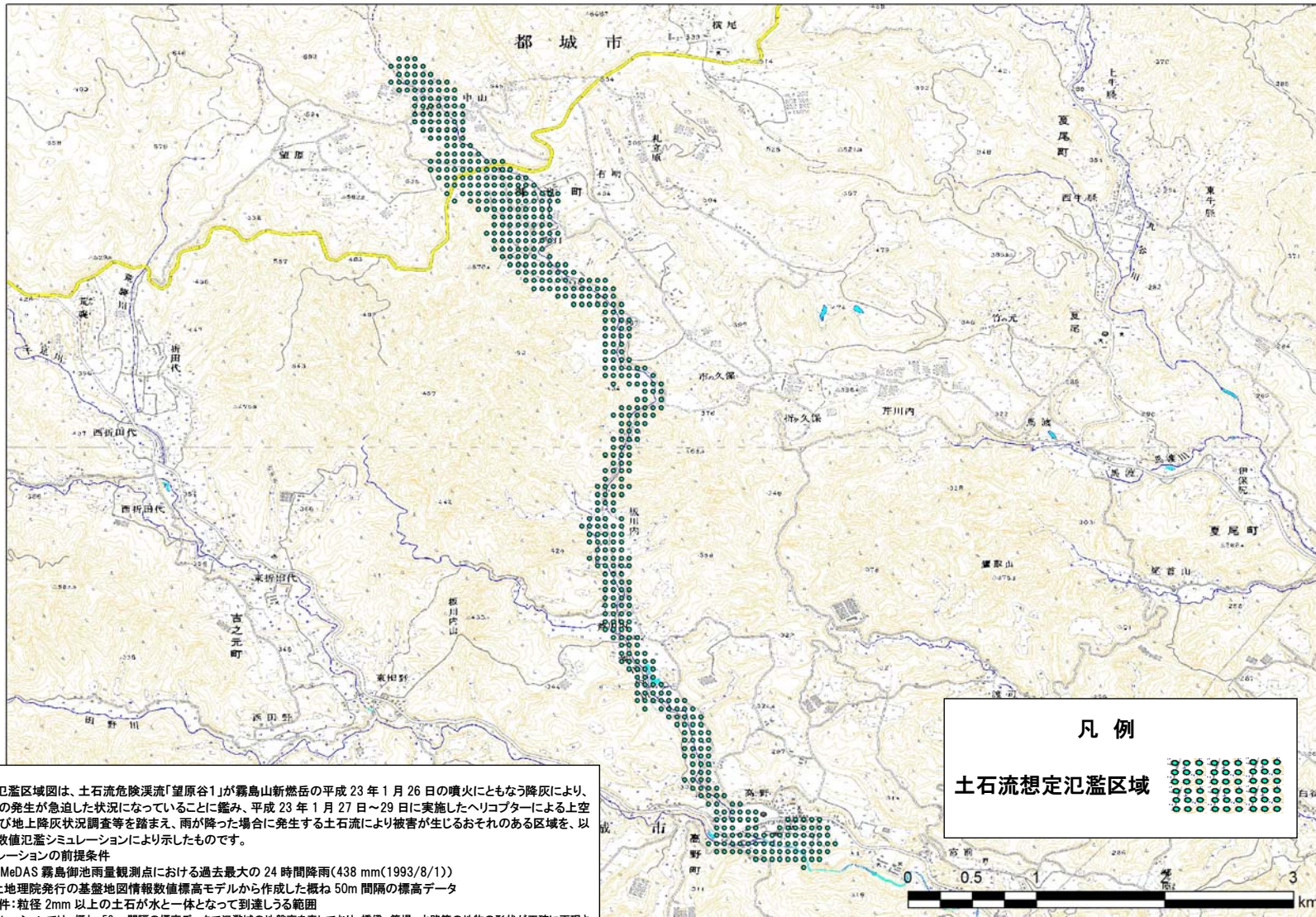
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：東田野谷（溪流番号：04-202-1-017）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：望原谷1（溪流番号：04-202-2-020）



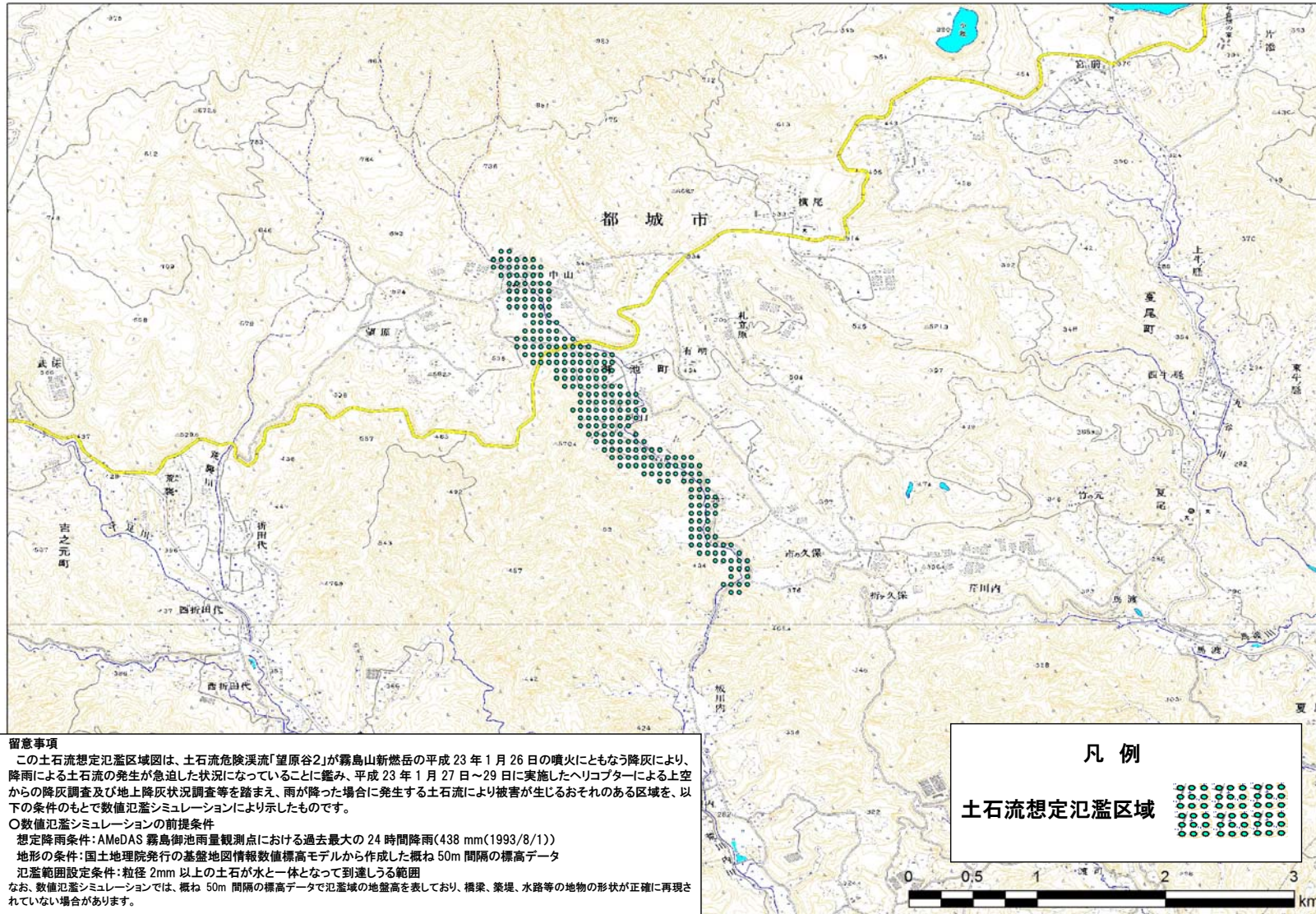
留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「望原谷1」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

凡例
 土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：望原谷2（溪流番号：04-202-1-021）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「望原谷2」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基礎地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

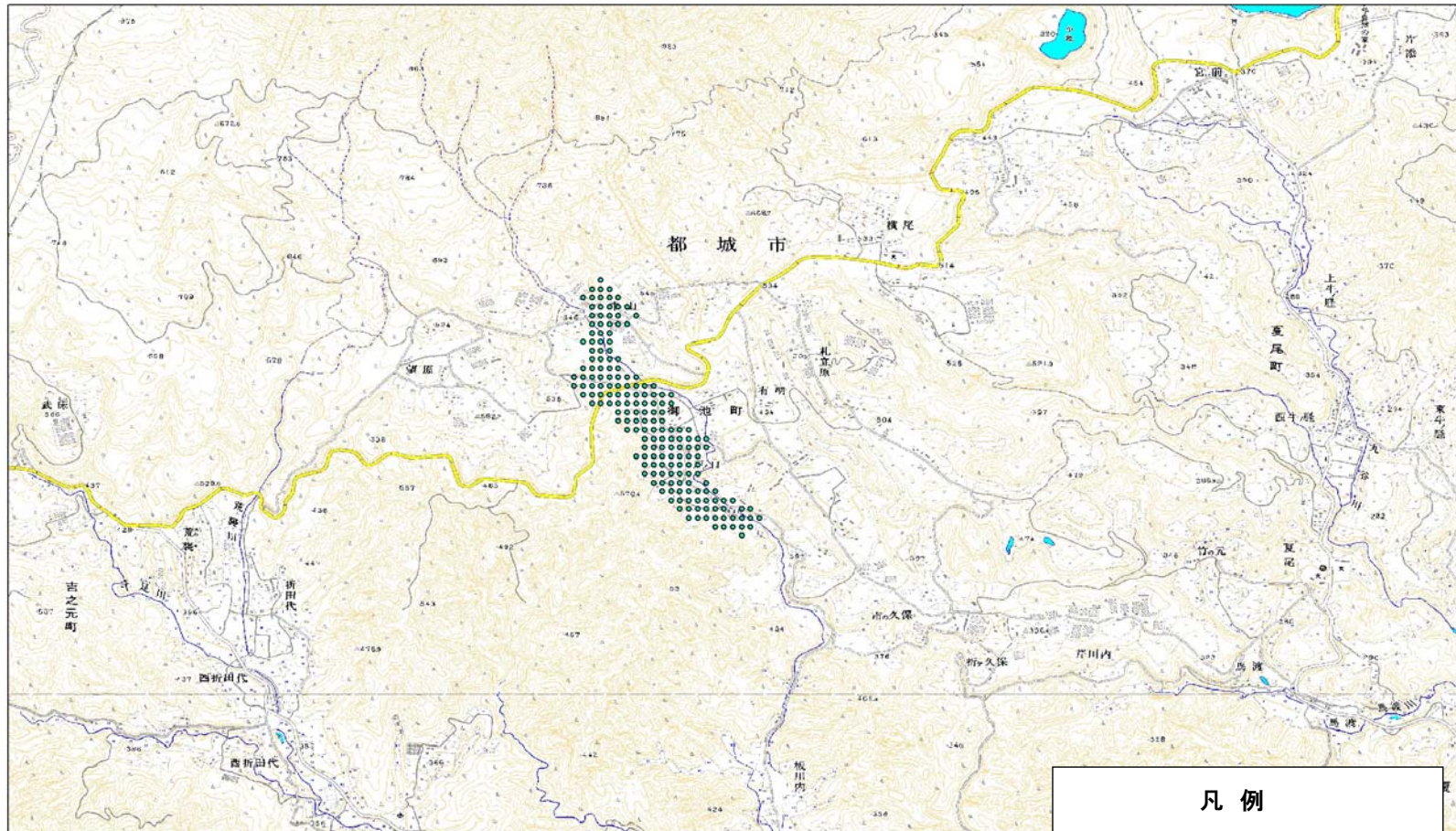
凡例

土石流想定氾濫区域

0 0.5 1 2 3 km

土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：望原谷3（溪流番号：04-202-2-022）



凡例

土石流想定氾濫区域

留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「望原谷3」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。

○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基礎地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、養護、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

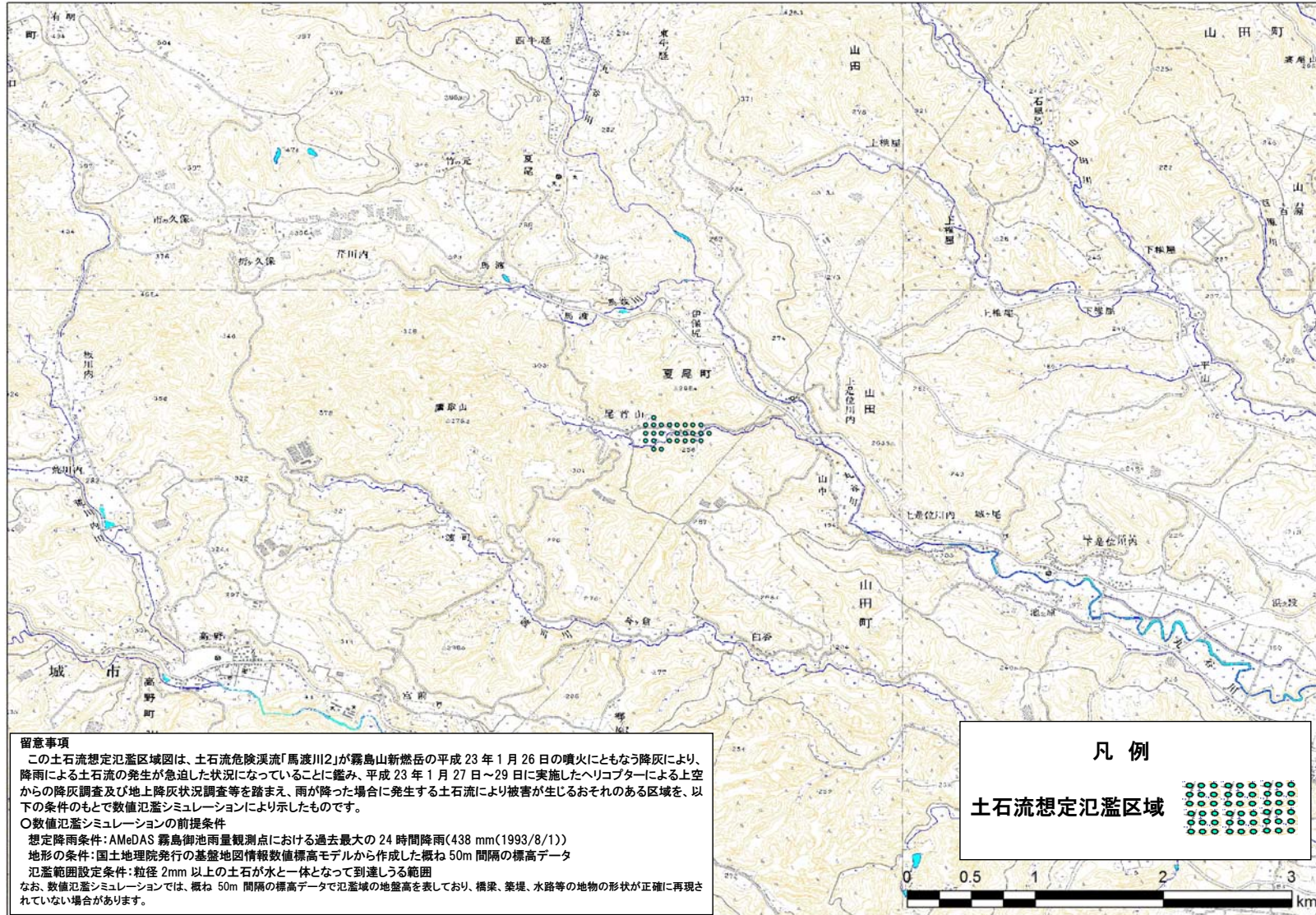
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：中山谷2（溪流番号：04-202-2-023）



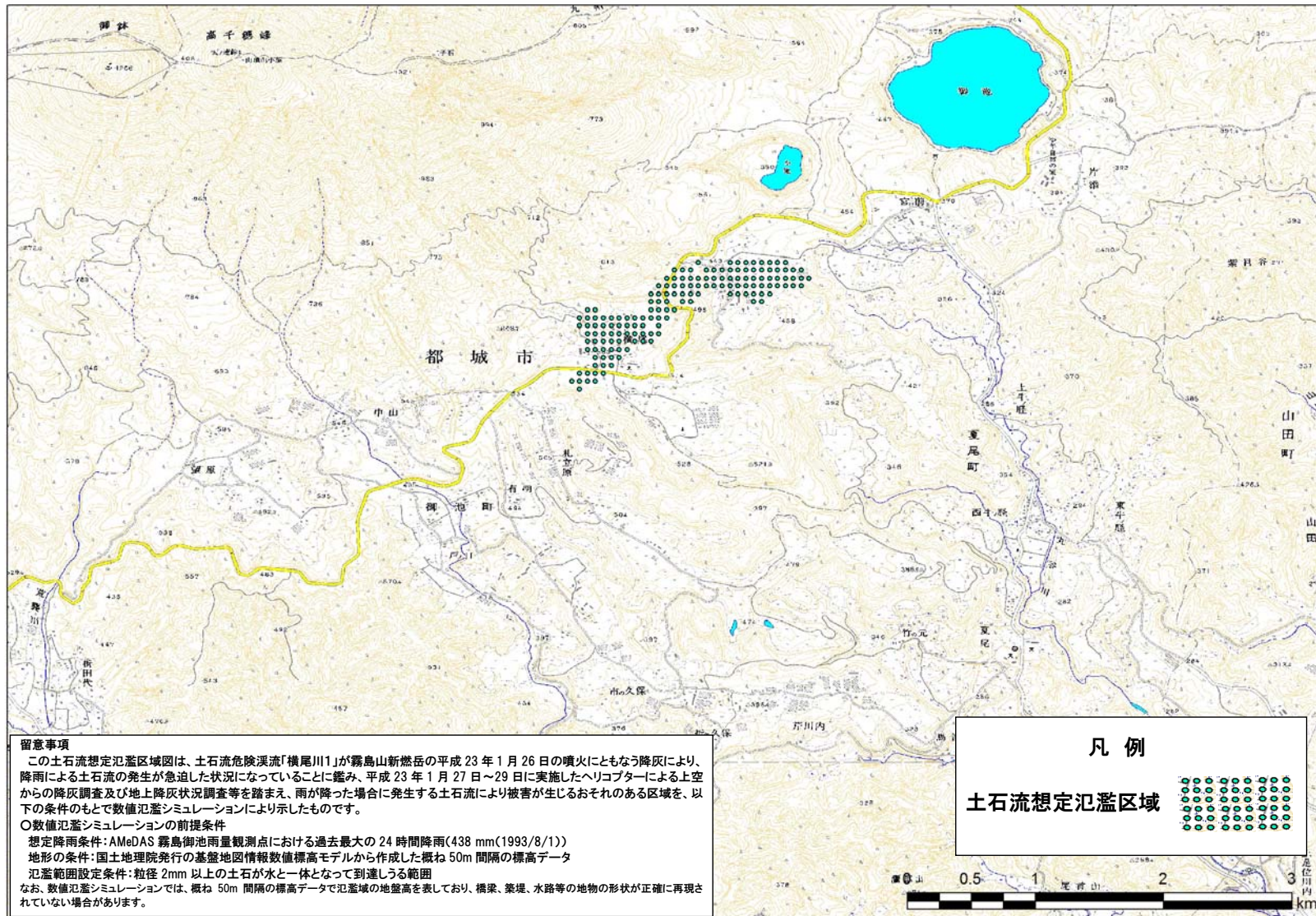
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：馬渡川2（溪流番号：04-202-2-504）



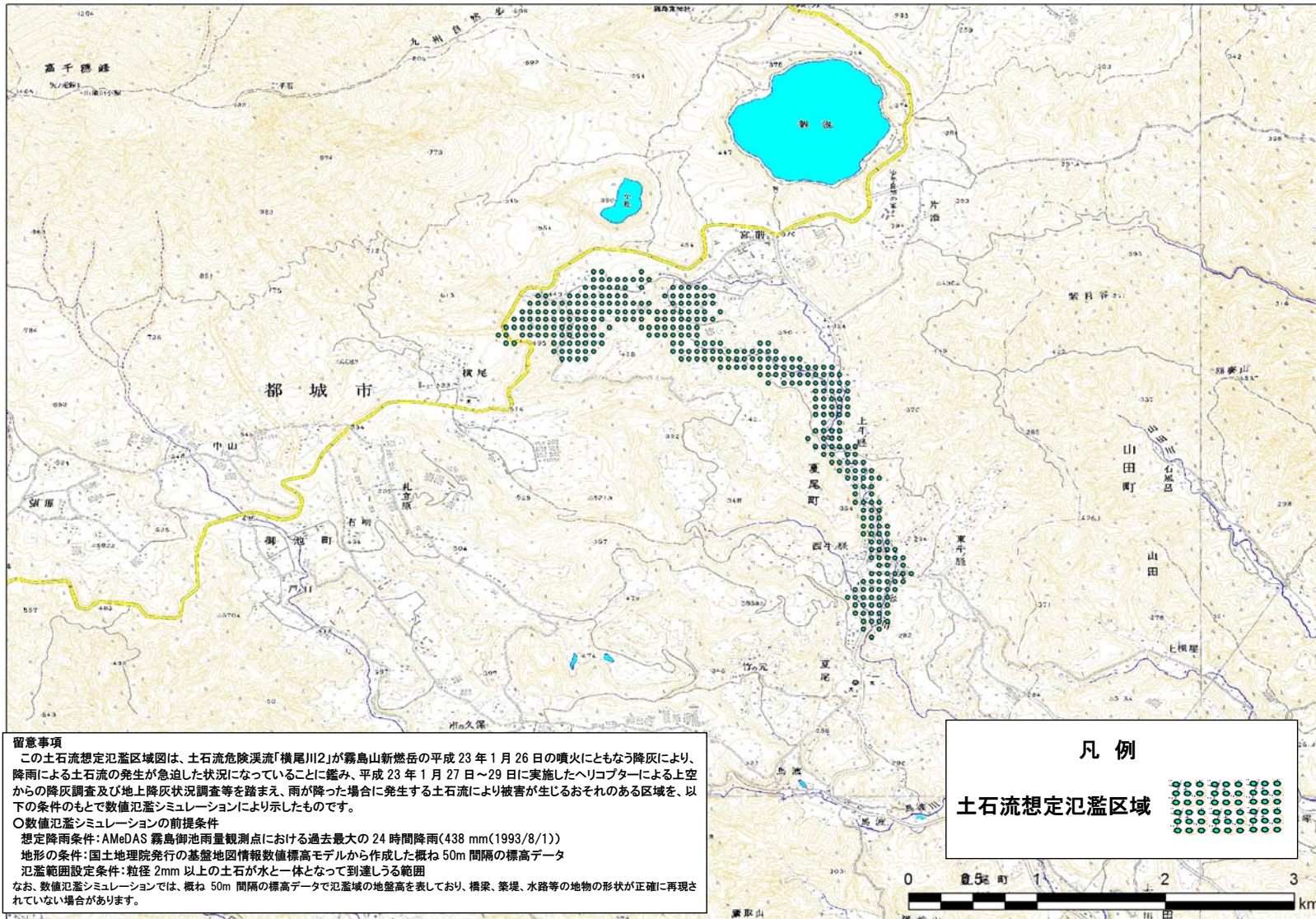
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：横尾川1（溪流番号：04-202-2-505）



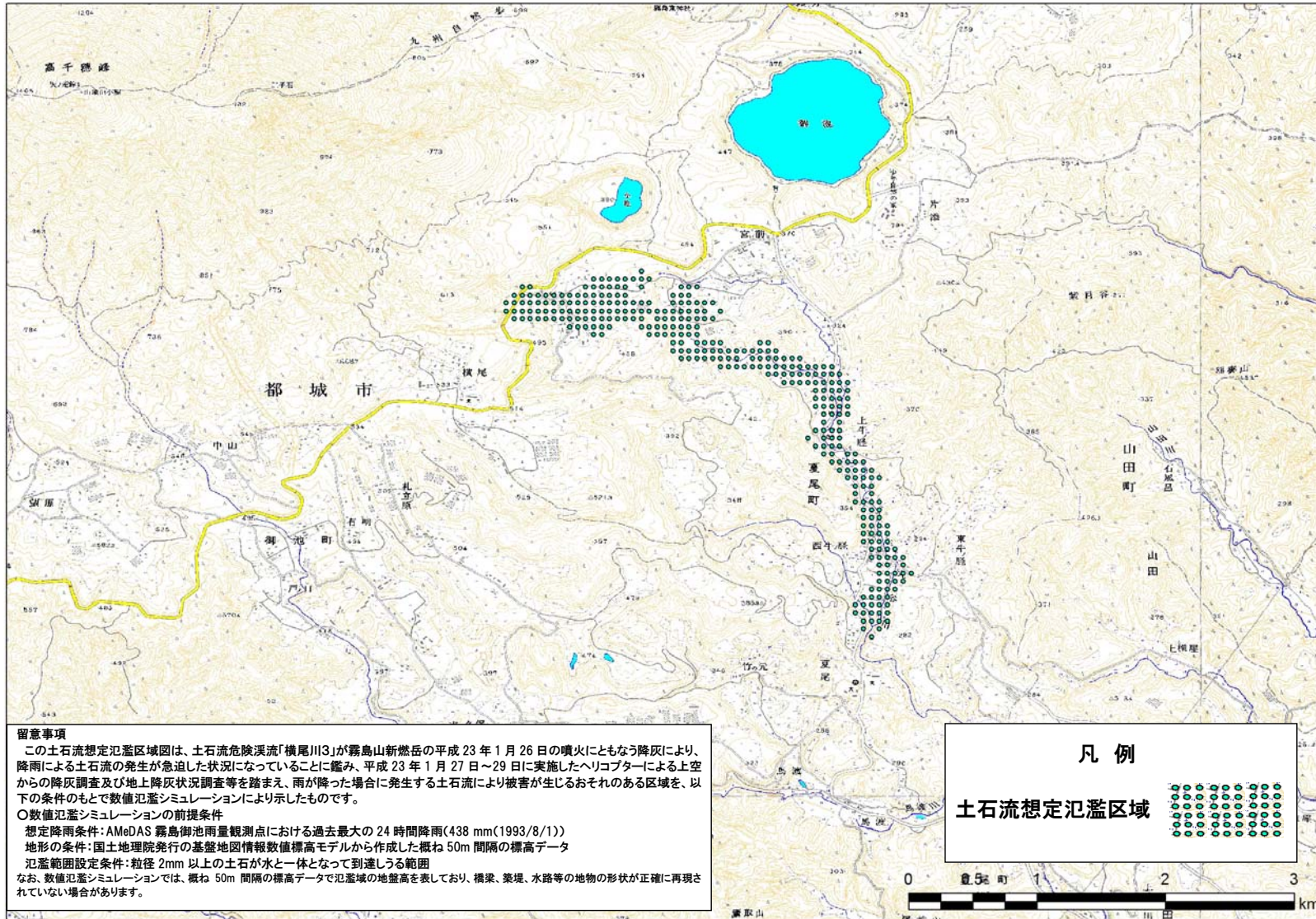
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：横尾川2（溪流番号：04-202-2-506）



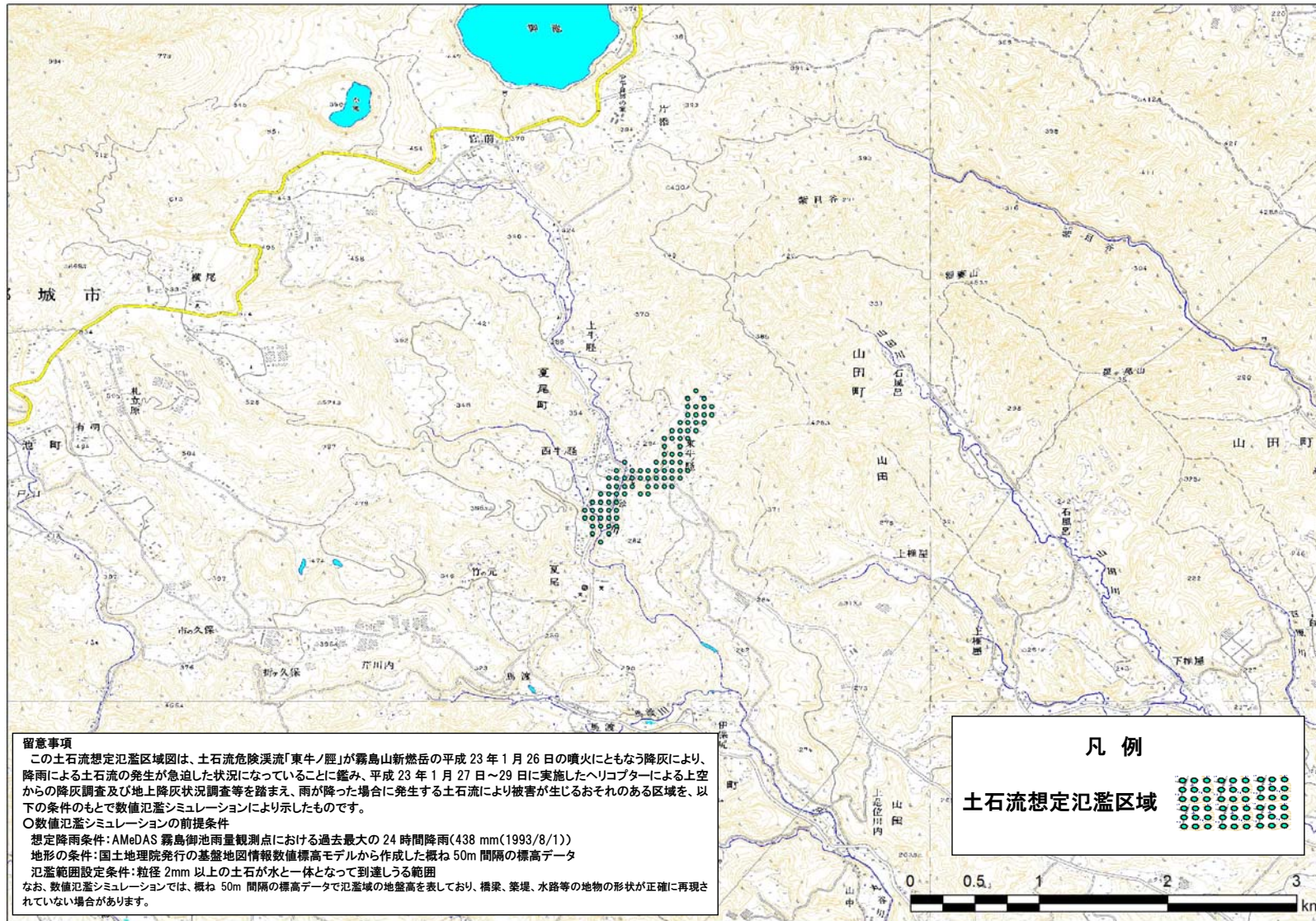
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：横尾川3（溪流番号：04-202-2-507）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：東牛ノ脛（溪流番号：04-202-2-508）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：古江川3（溪流番号：04-344-1-503）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：古江川4（溪流番号：04-344-1-504）



留意事項

この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「古江川4」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。

○数値氾濫シミュレーションの前提条件

想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))

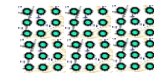
地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ

氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲

なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

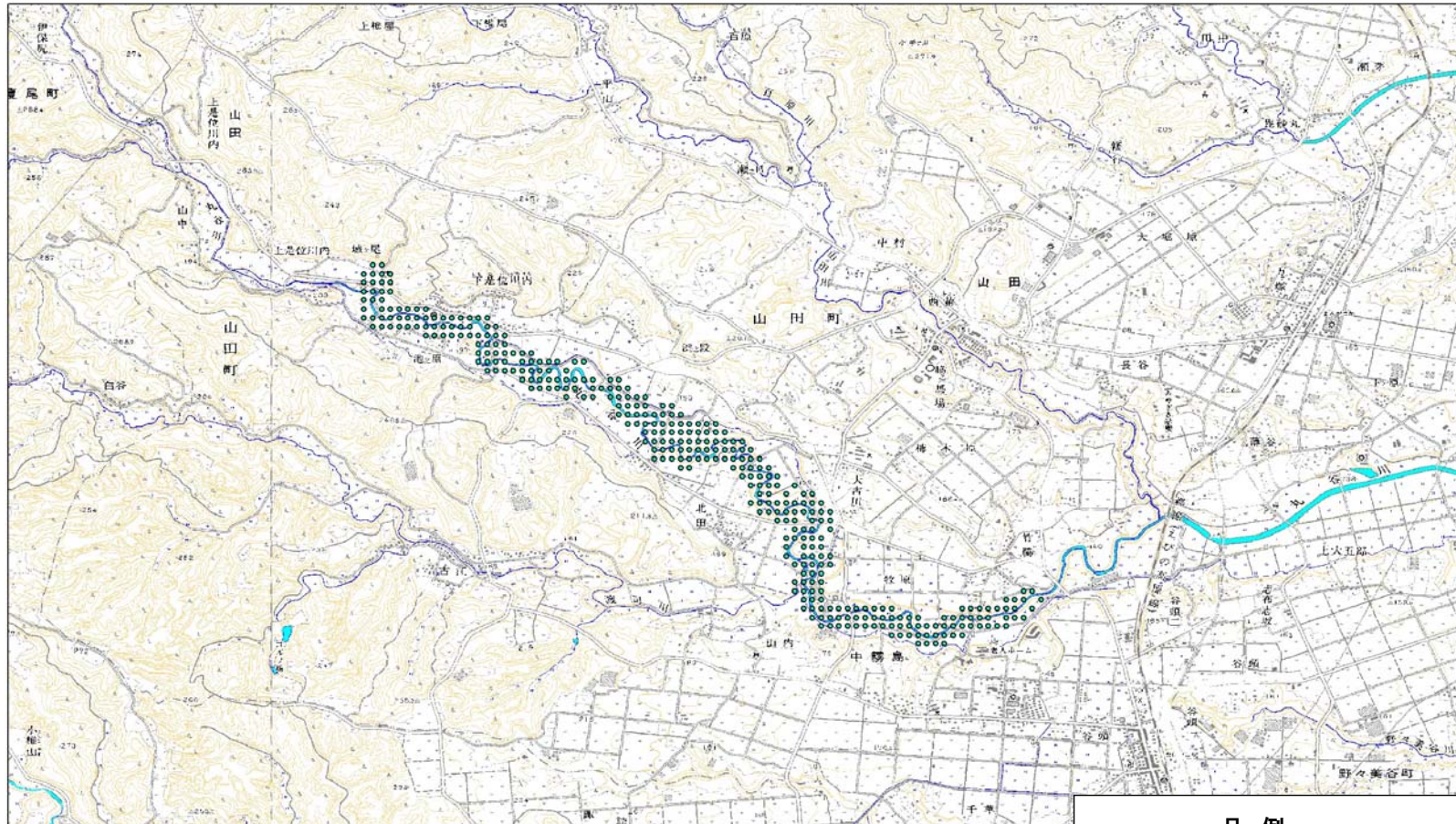
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：城ヶ尾川2（溪流番号：04-344-1-505）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「城ヶ尾川2」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

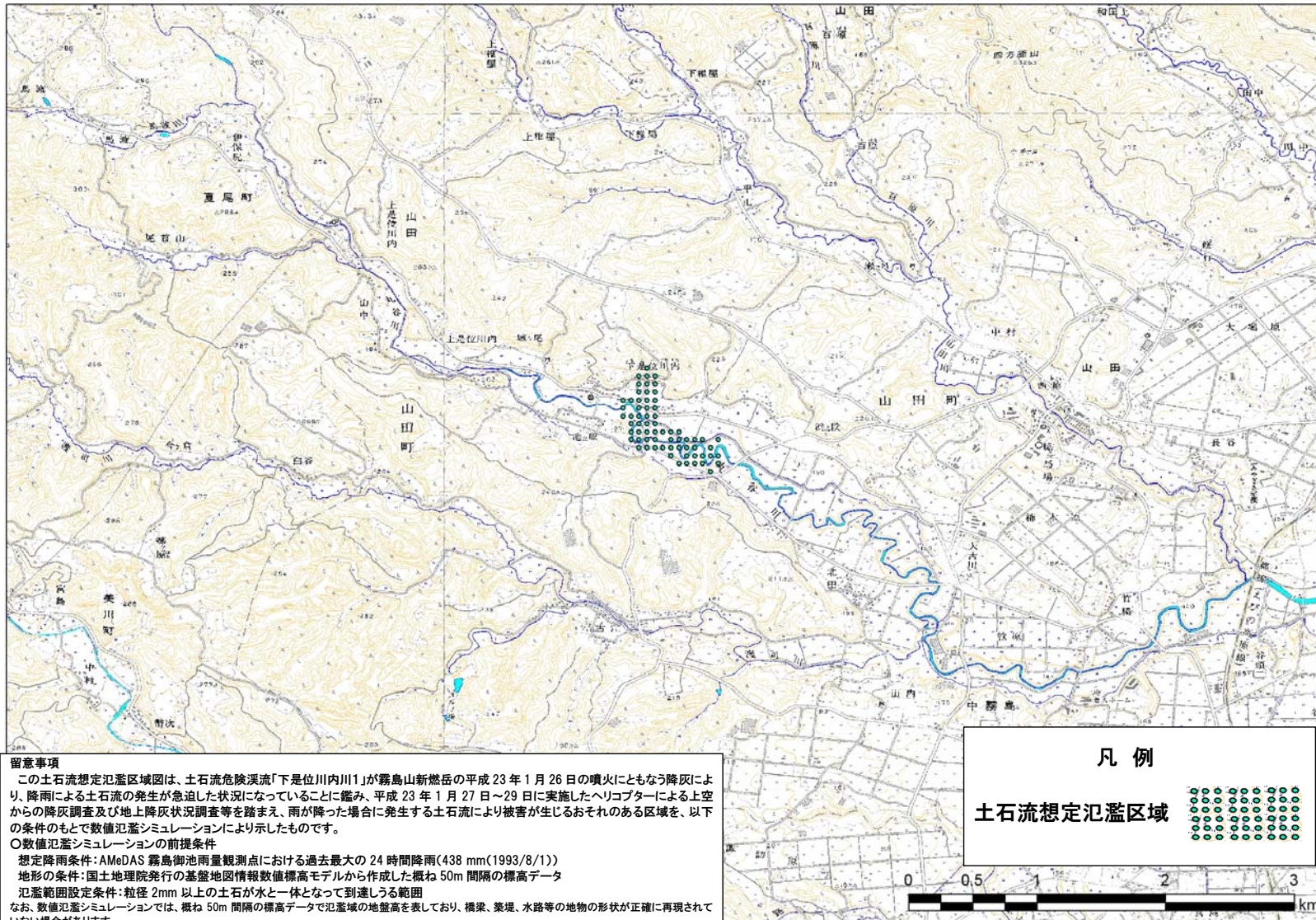
凡例

土石流想定氾濫区域

0 0.5 1 2 3 km

土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：下是位川内川1（溪流番号：04-344-1-506）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「下是位川内川1」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

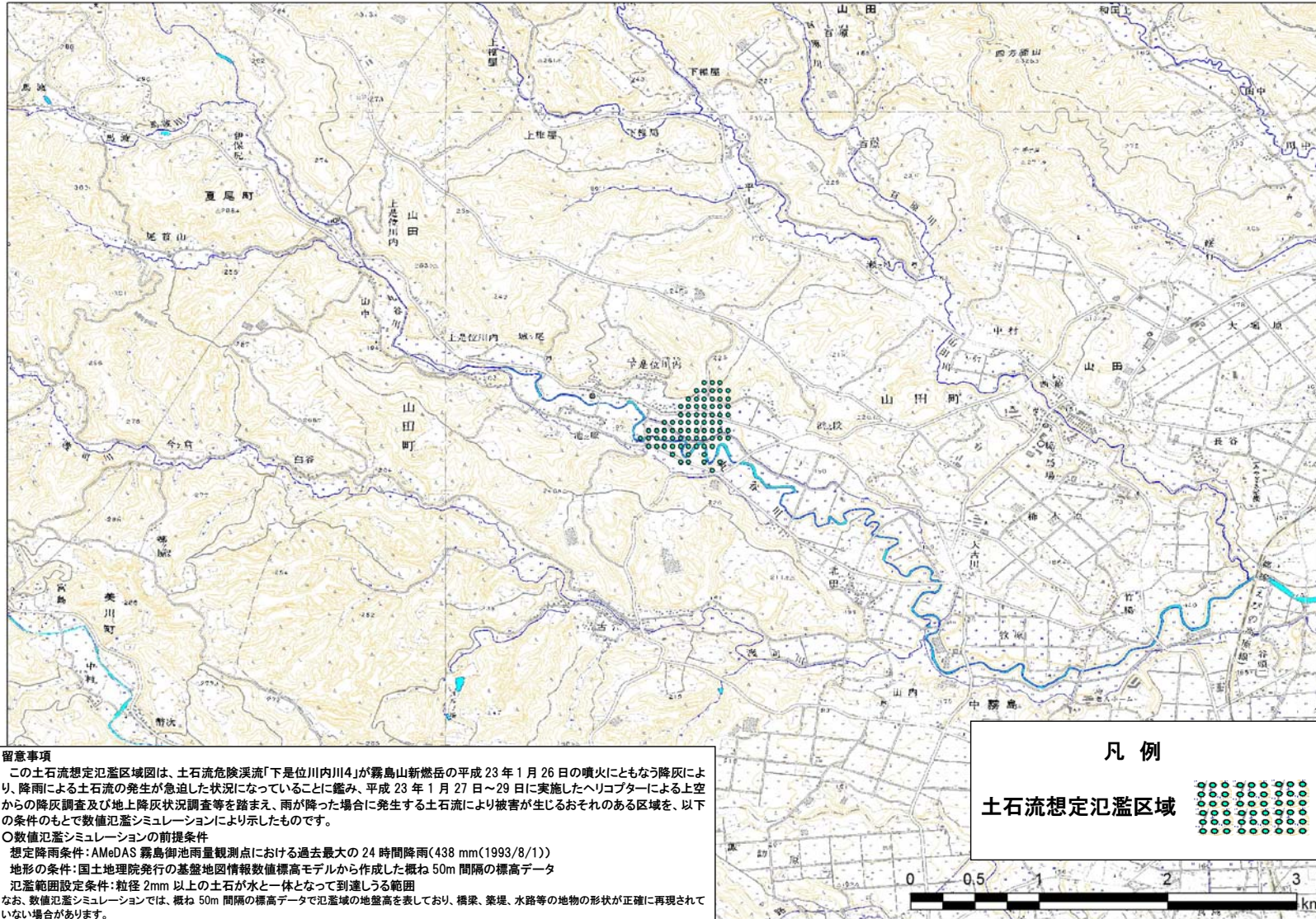
凡例

土石流想定氾濫区域

0 0.5 1 2 3 km

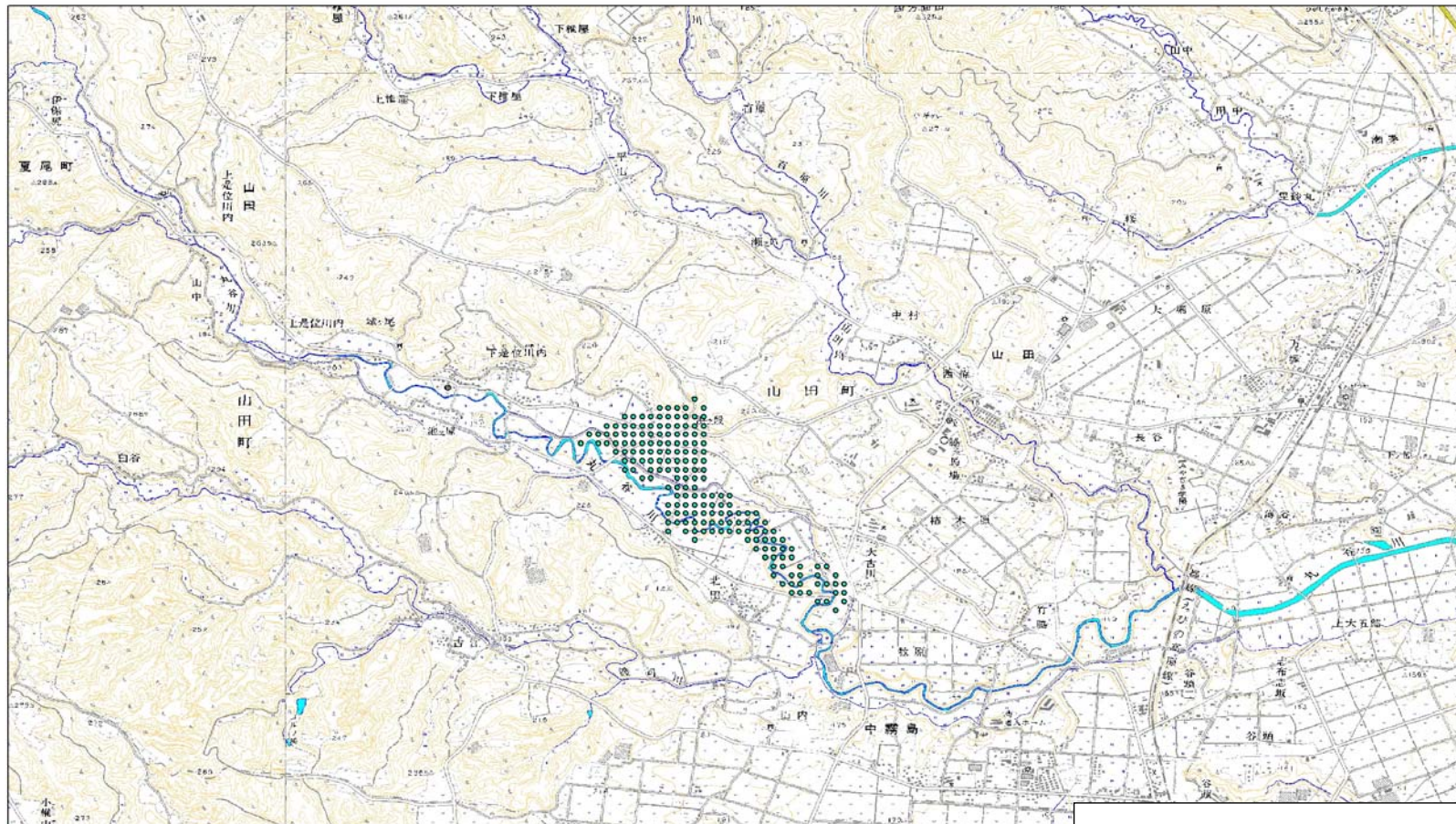
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：下是位川内川4（溪流番号：04-344-1-507）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：浜之段川（溪流番号：04-344-1-508）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「浜之段川」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

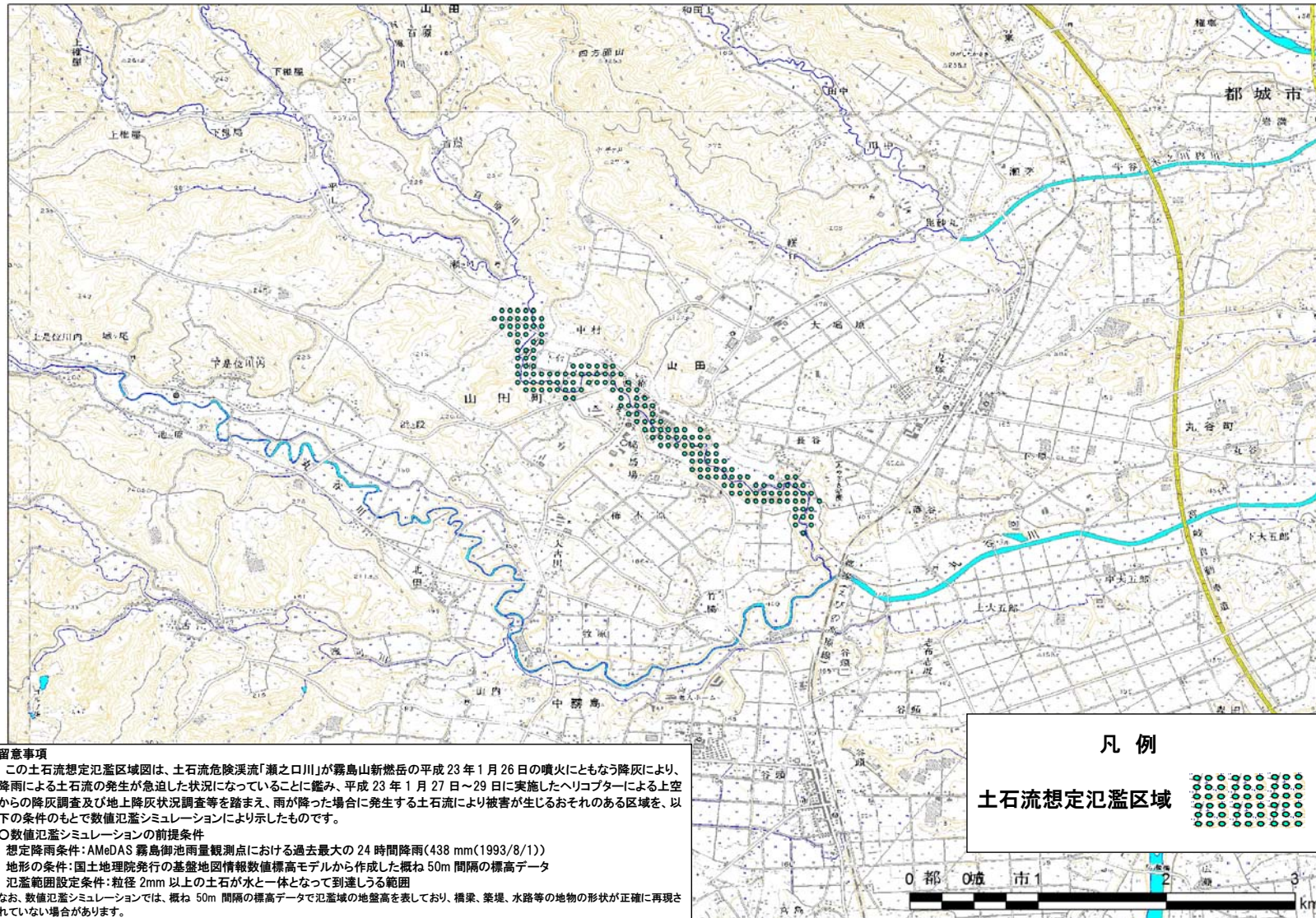
凡例

土石流想定氾濫区域



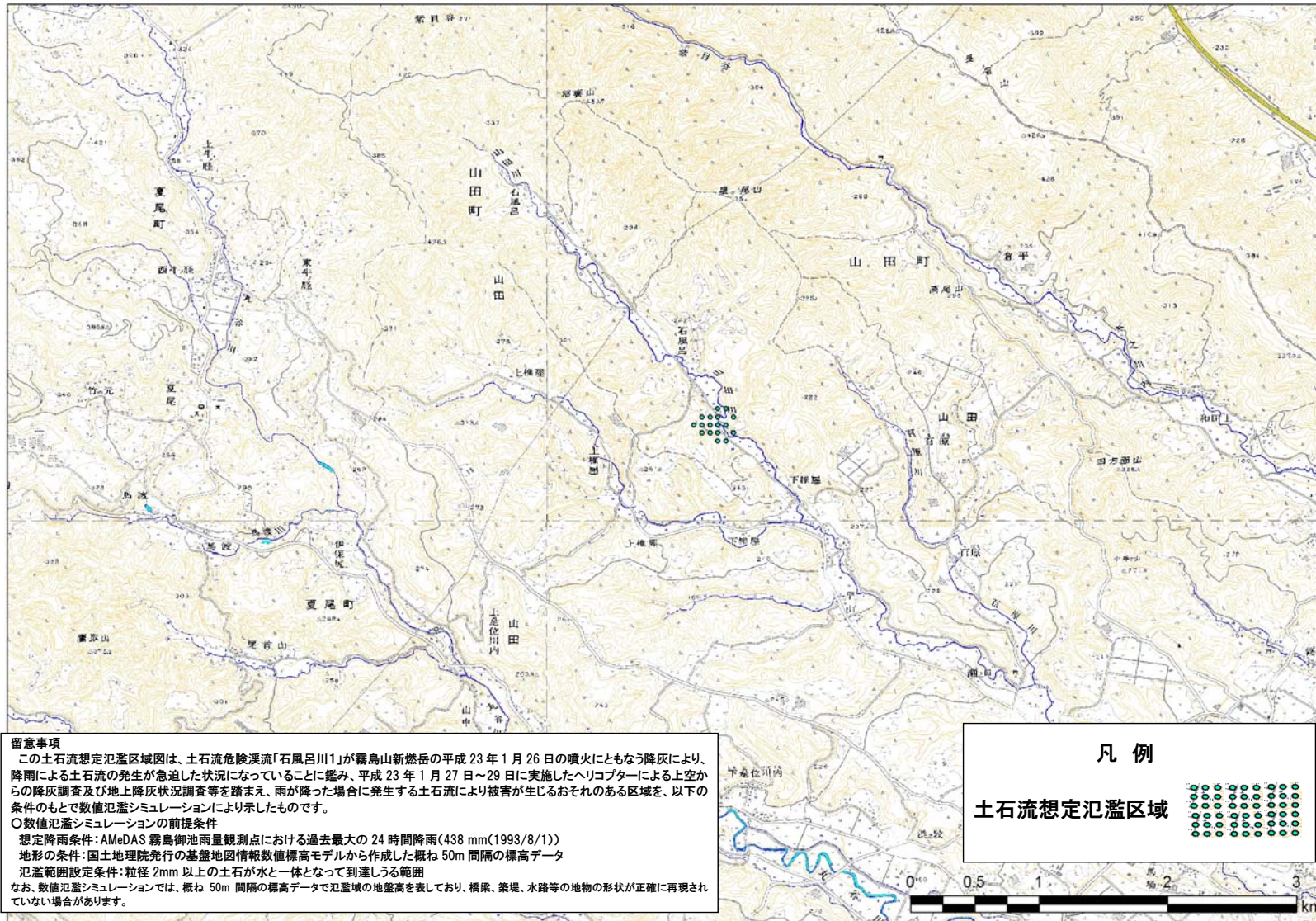
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：瀬之口川（溪流番号：04-344-1-509）



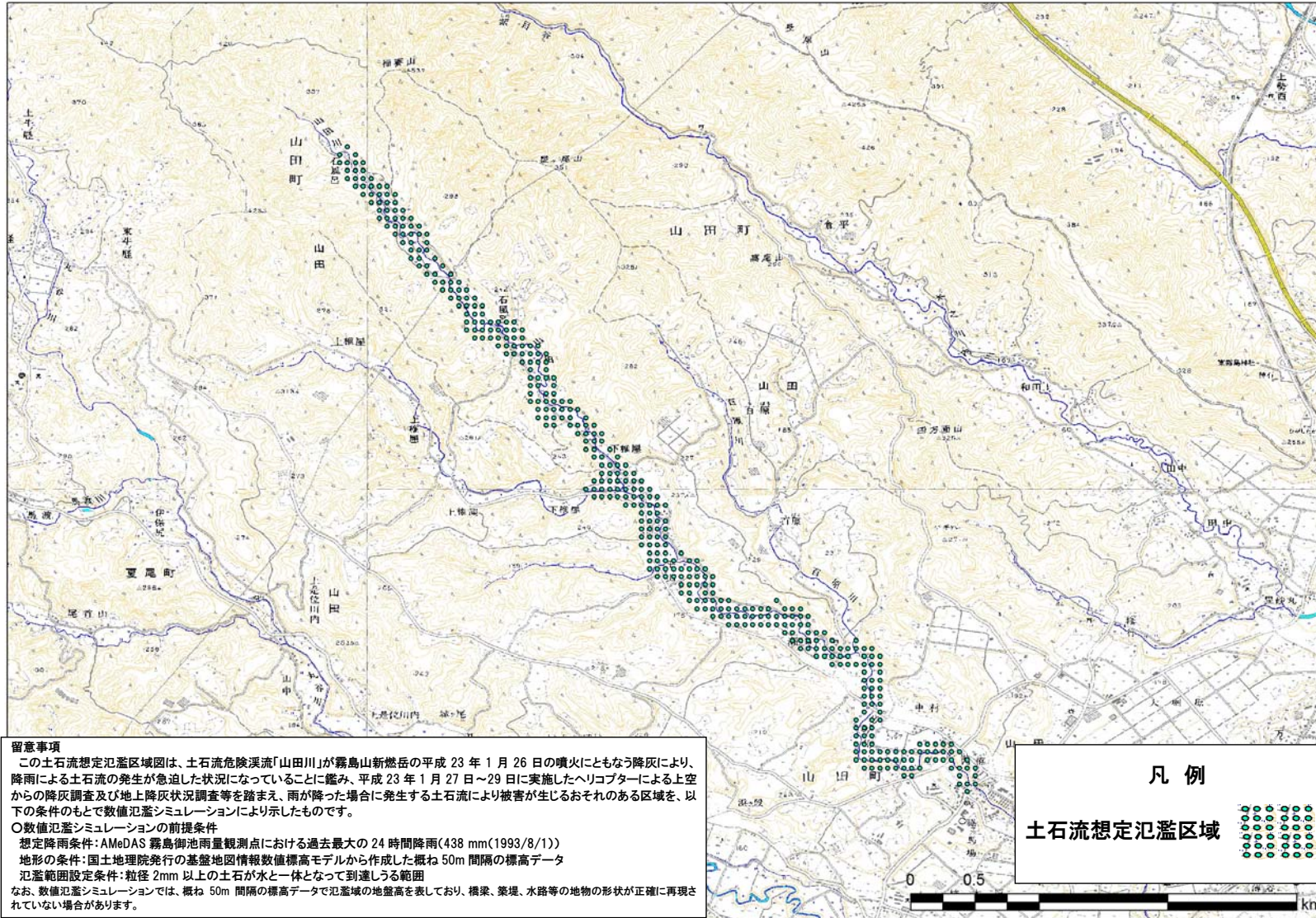
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：石風呂川1（溪流番号：04-344-1-511）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：山田川（溪流番号：04-344-1-512）



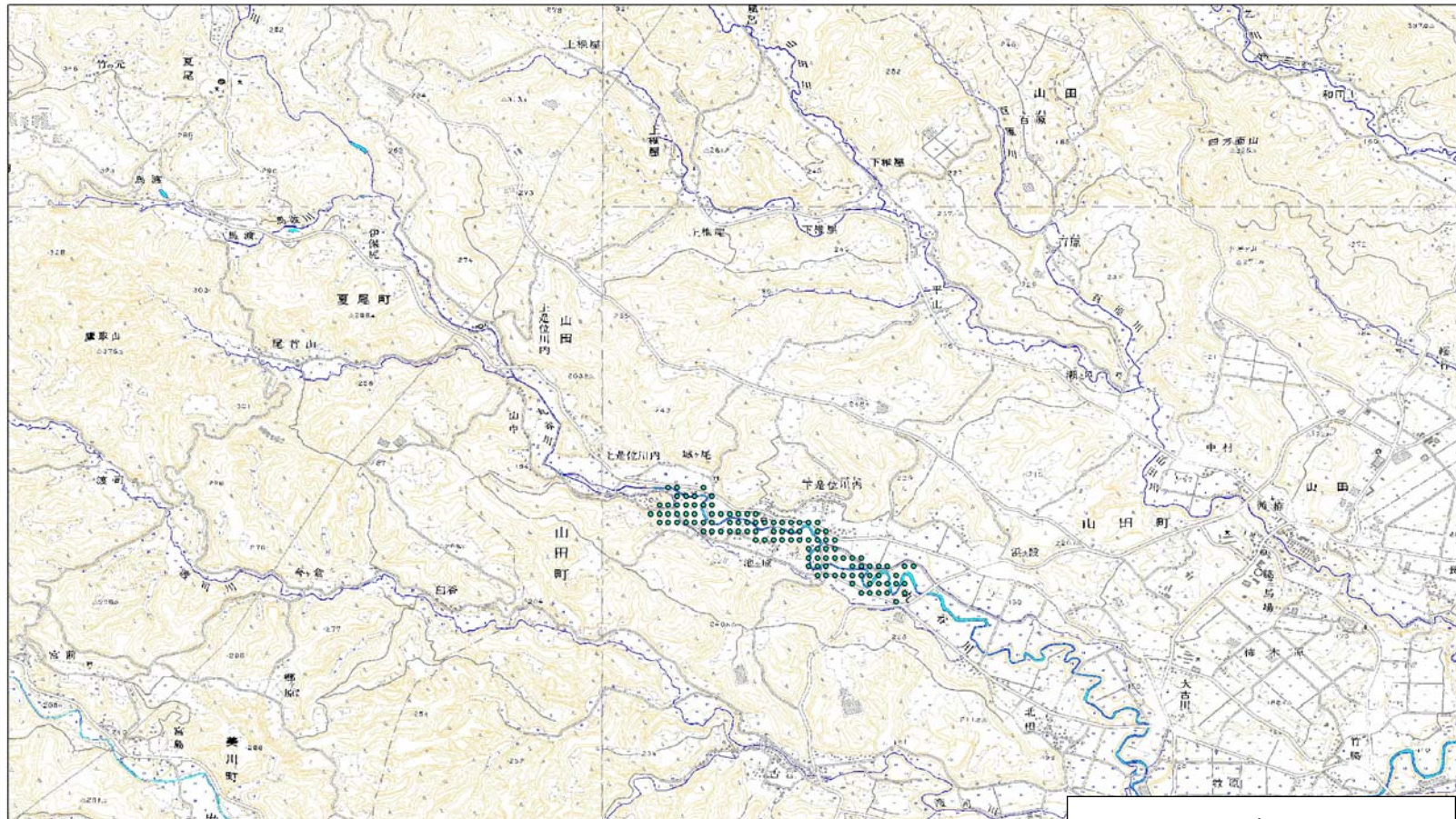
留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「山田川」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

凡 例

土石流想定氾濫区域

土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：池之原川（溪流番号：04-344-2-501）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「池之原川」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

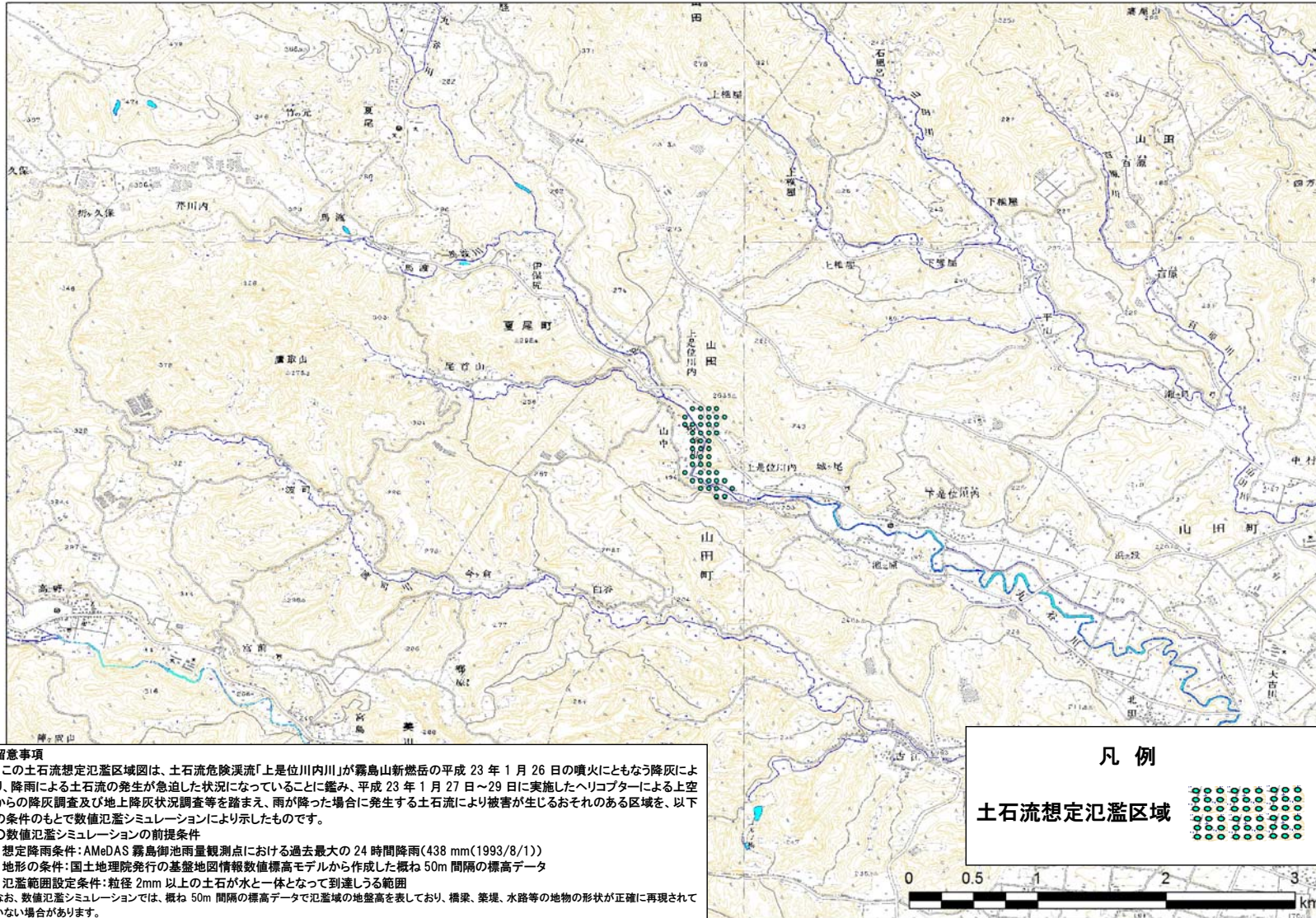
凡 例

土石流想定氾濫区域

0 0.5 1 2 3 km

土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：上是位川内川（溪流番号：04-344-2-502）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：上椎屋川（溪流番号：04-344-2-503）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「上椎屋川」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

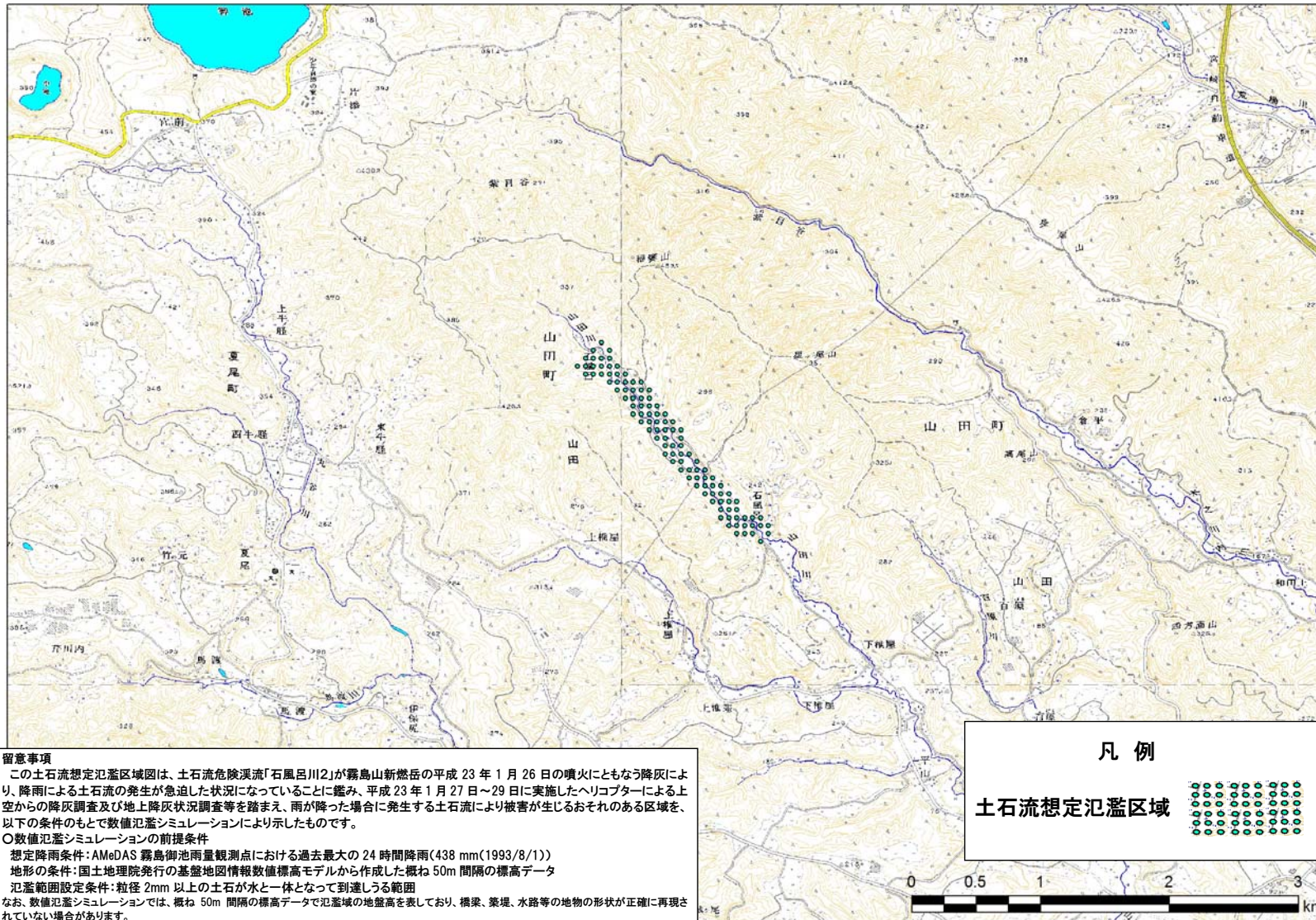
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：石風呂川2（溪流番号：04-344-2-504）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「石風呂川2」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

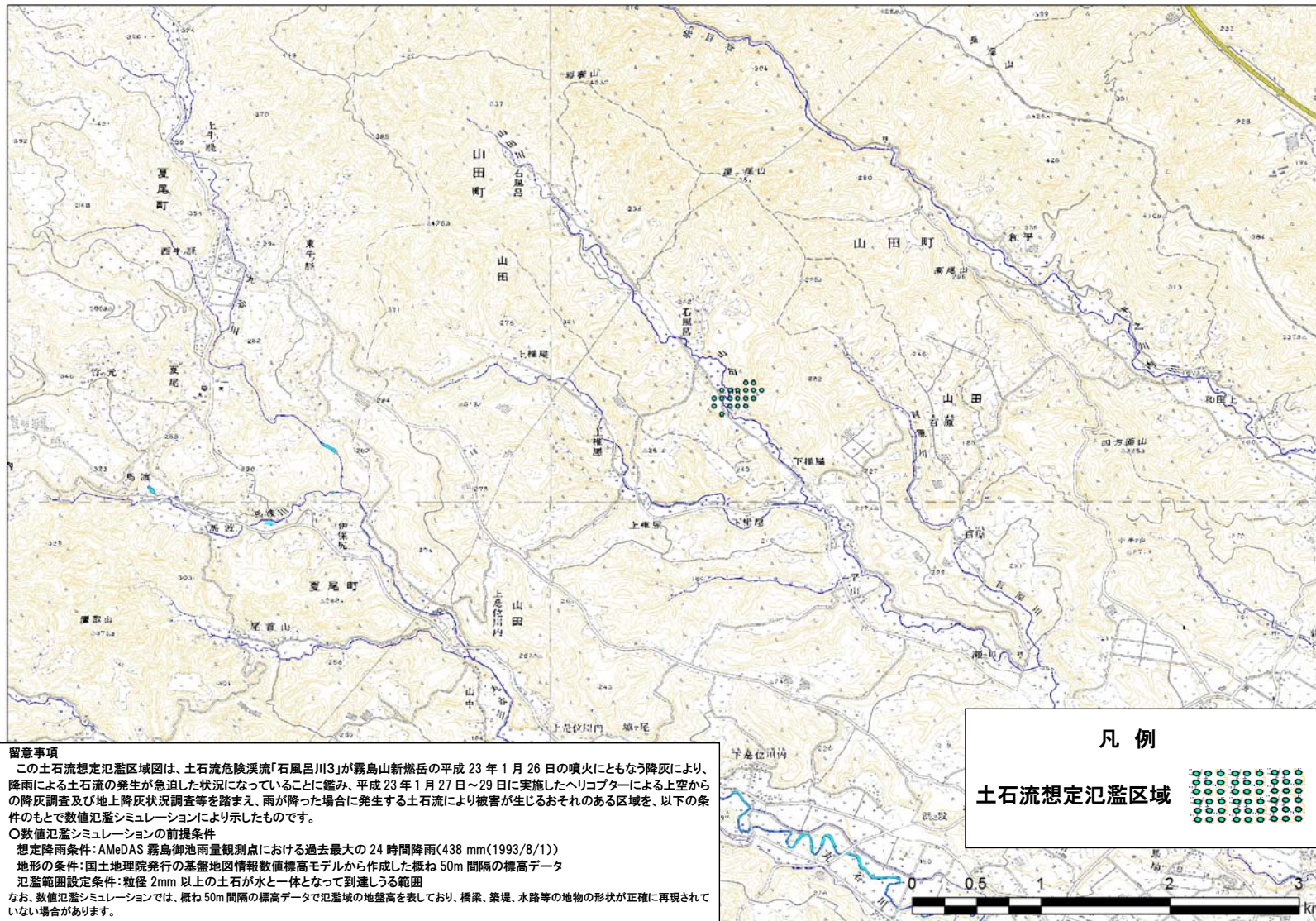
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：石風呂川3（溪流番号：04-344-2-506）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「石風呂川3」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にもなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

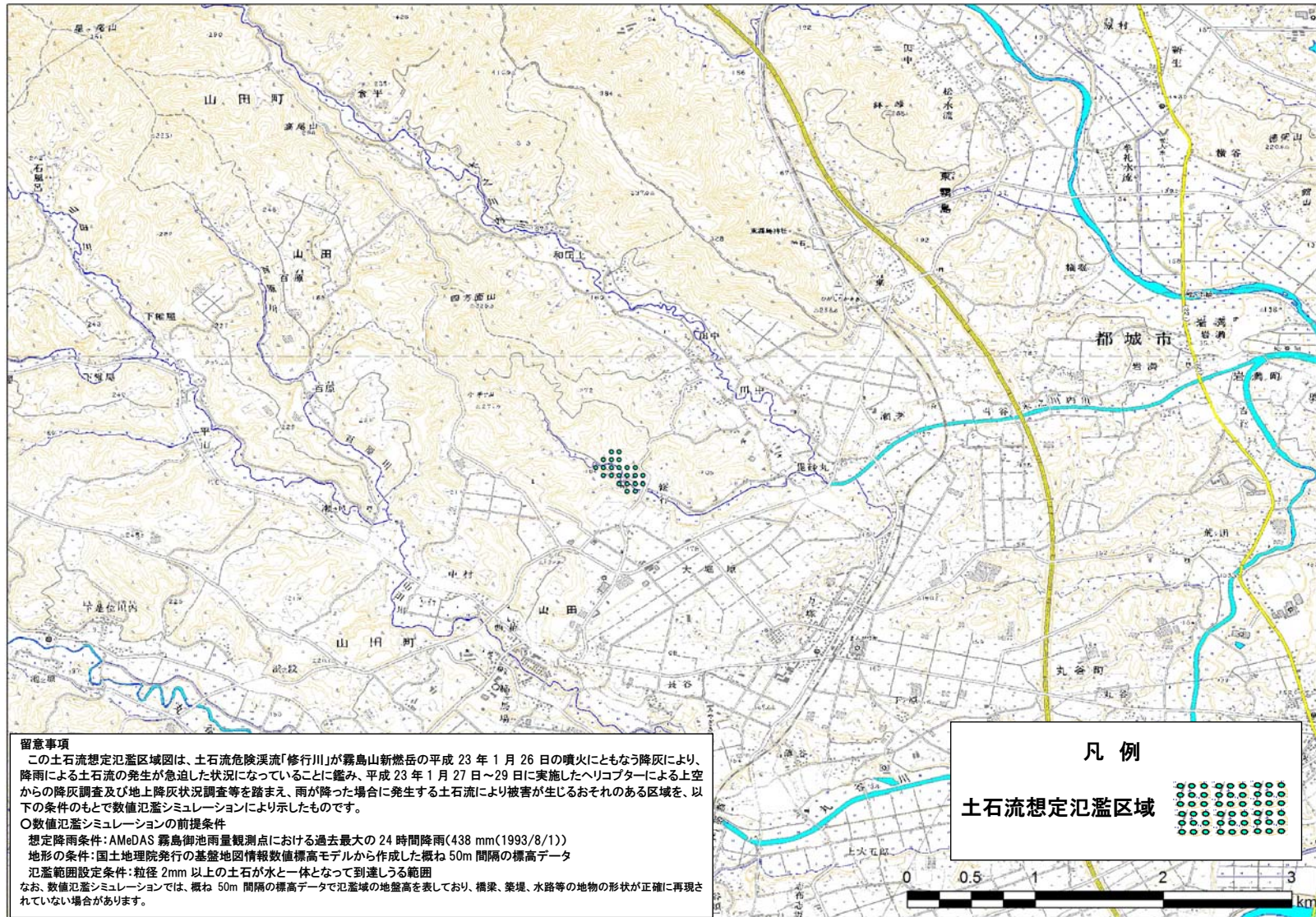
凡 例

土石流想定氾濫区域



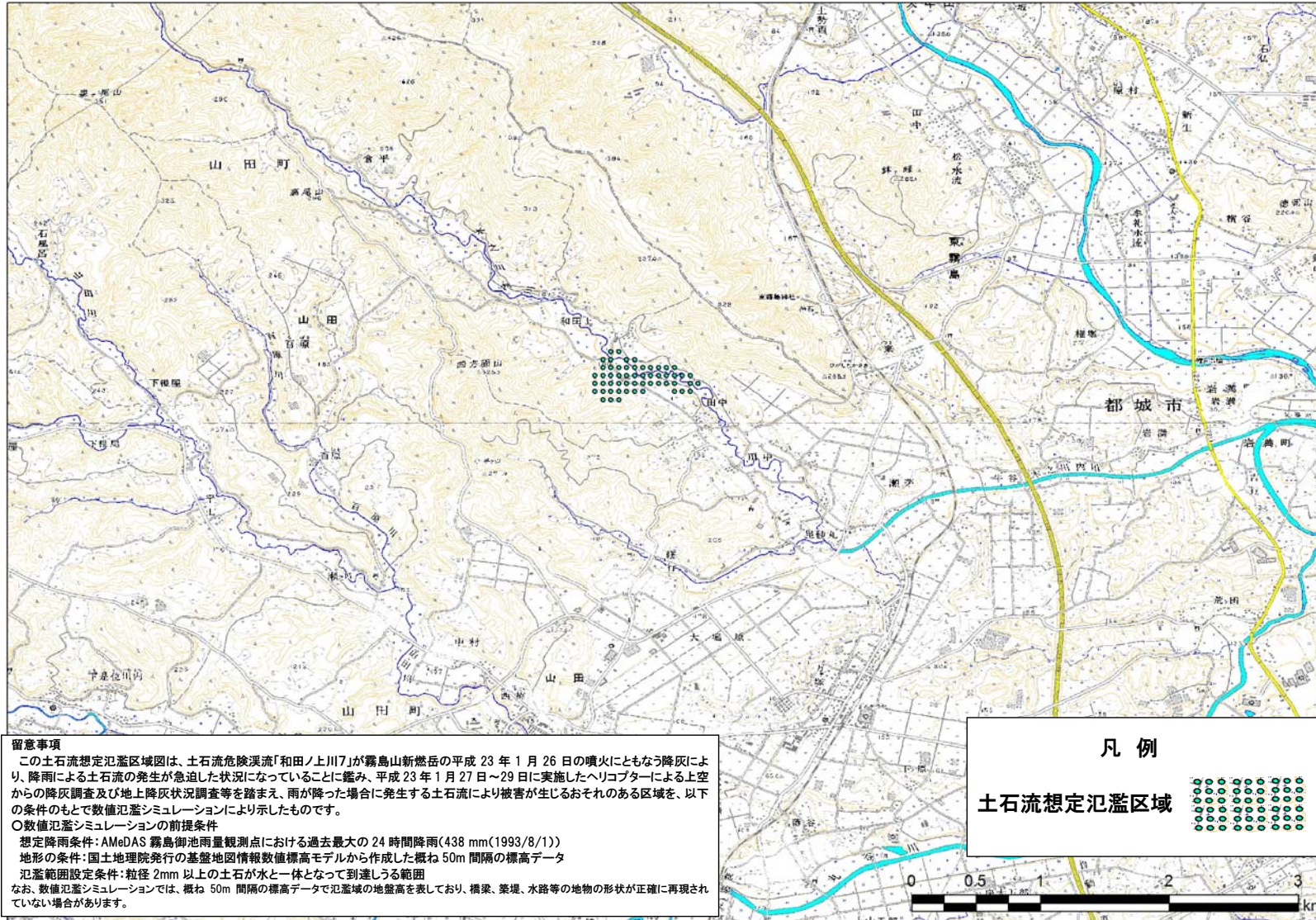
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：修行川（溪流番号：04-344-2-507）



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：和田ノ上川7（溪流番号：04-344-2-508）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「和田ノ上川7」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

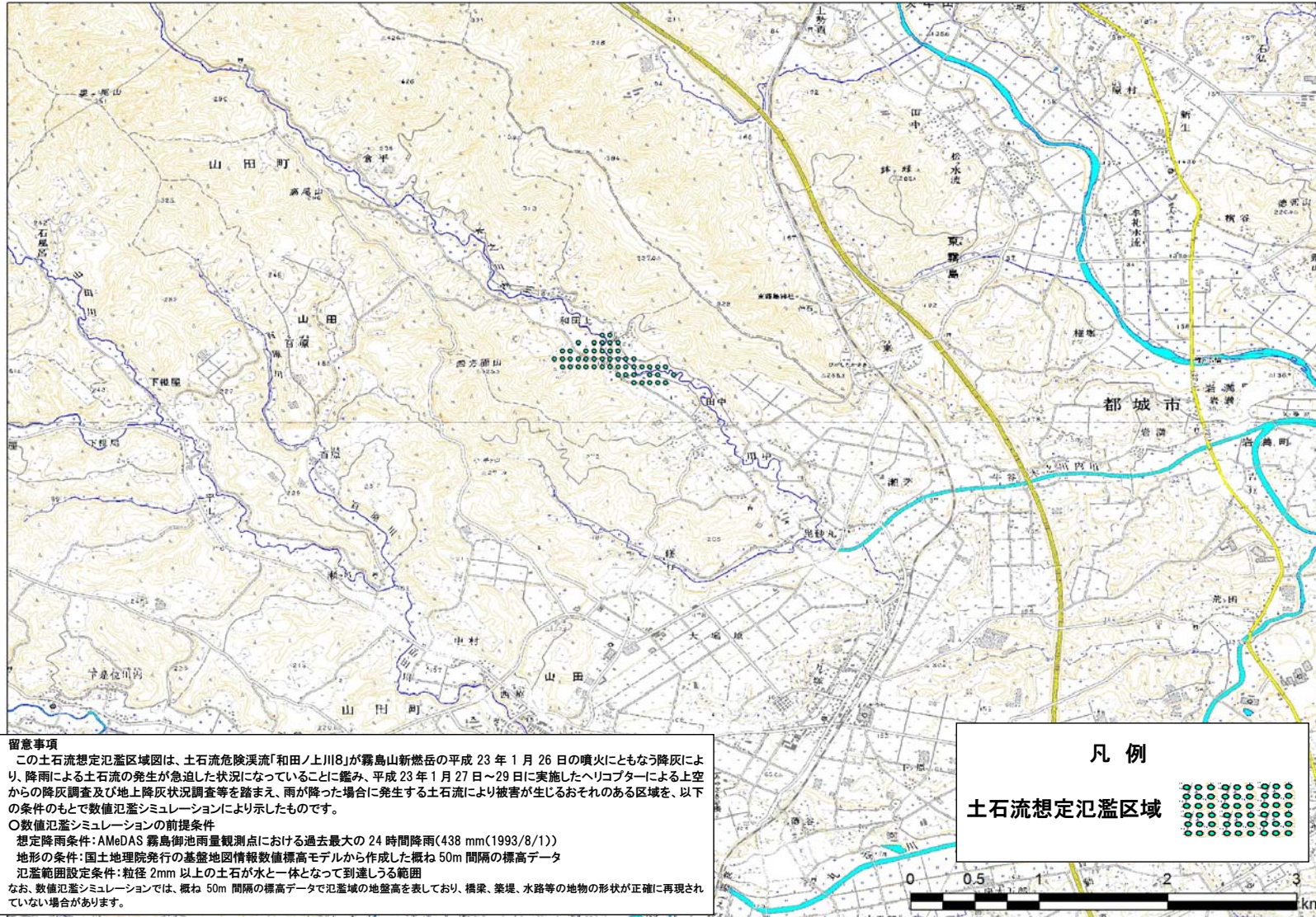
凡例

土石流想定氾濫区域



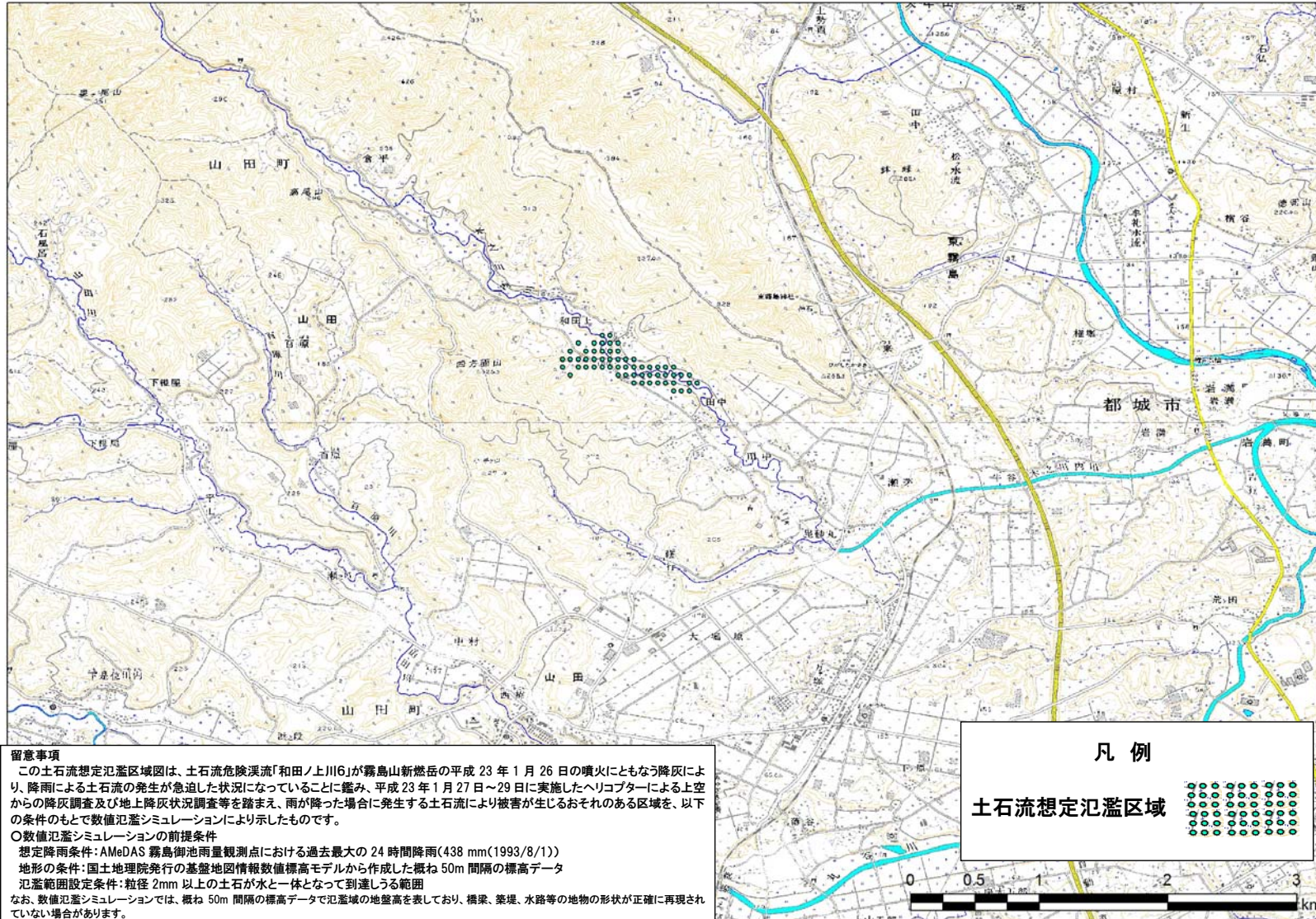
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：和田ノ上川8（溪流番号：04-344-2-509）



土石流想定氾濫区域図

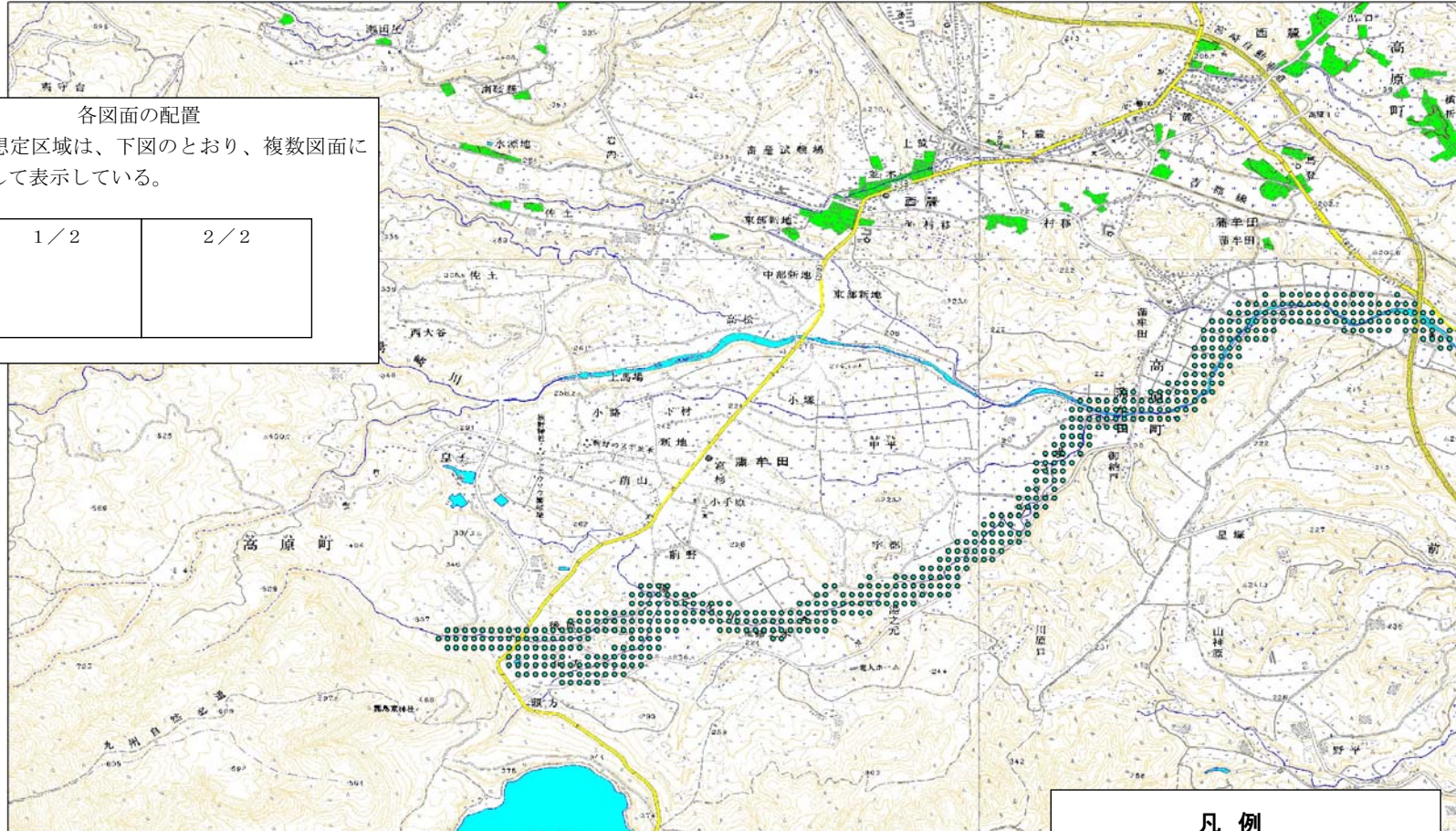
土石流危険溪流名：和田ノ上川6（溪流番号：04-344-2-510）



土石流想定氾濫区域図

(1/2)

土石流危険溪流名：祓川（溪流番号：05-361-1-503）



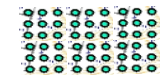
各図面の配置

- 氾濫想定区域は、下図のとおり、複数図面に分割して表示している。

1 / 2	2 / 2
-------	-------

凡例

土石流想定氾濫区域



留意事項

この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「祓川」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。

○数値氾濫シミュレーションの前提条件

想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))

地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ

氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲

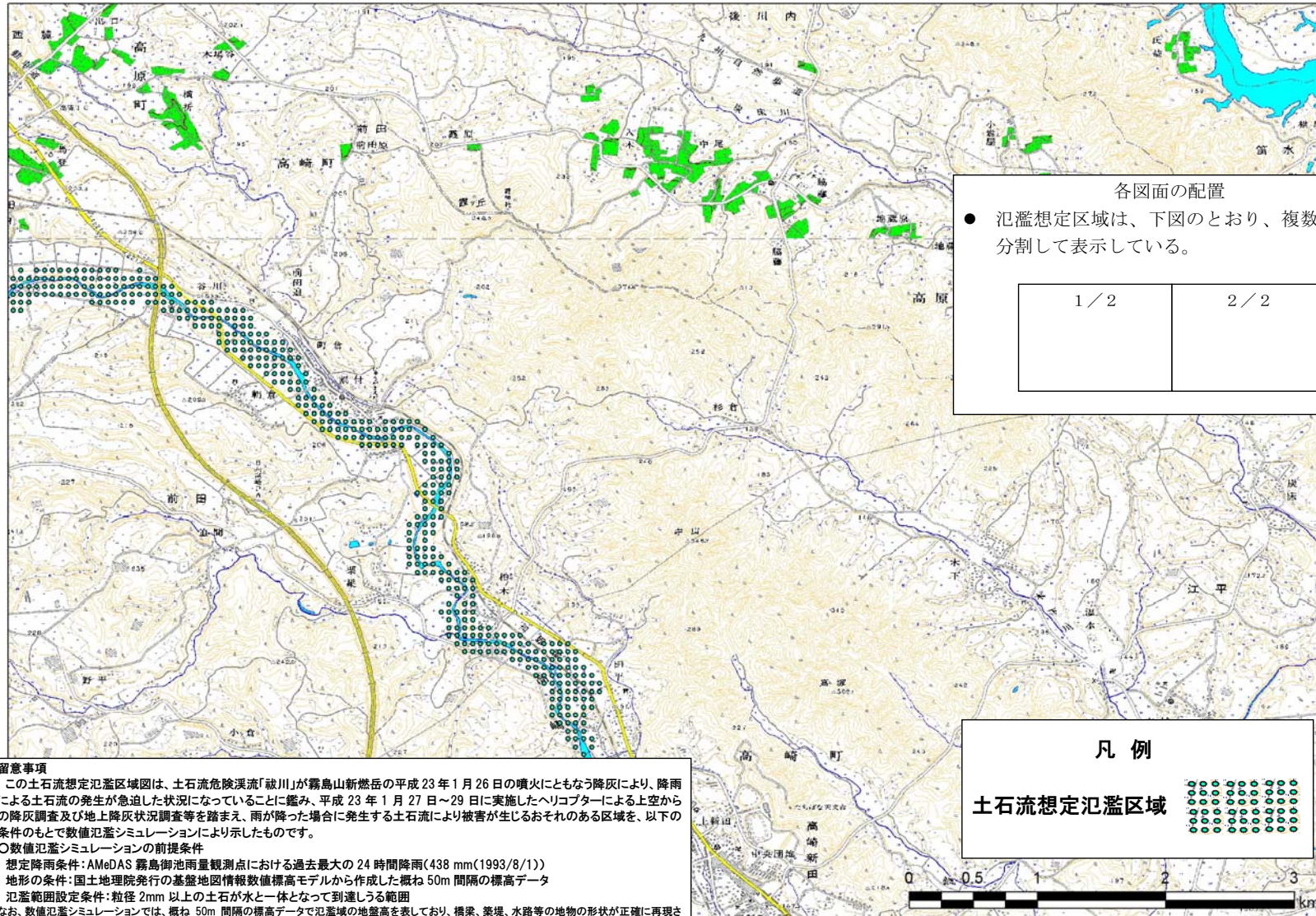
なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。



土石流想定氾濫区域図

土石流危険渓流名：祓川（溪流番号：05-361-1-503）

(2/2)



各図面の配置

- 氾濫想定区域は、下図のとおり、複数図面に分割して表示している。

1 / 2	2 / 2
-------	-------

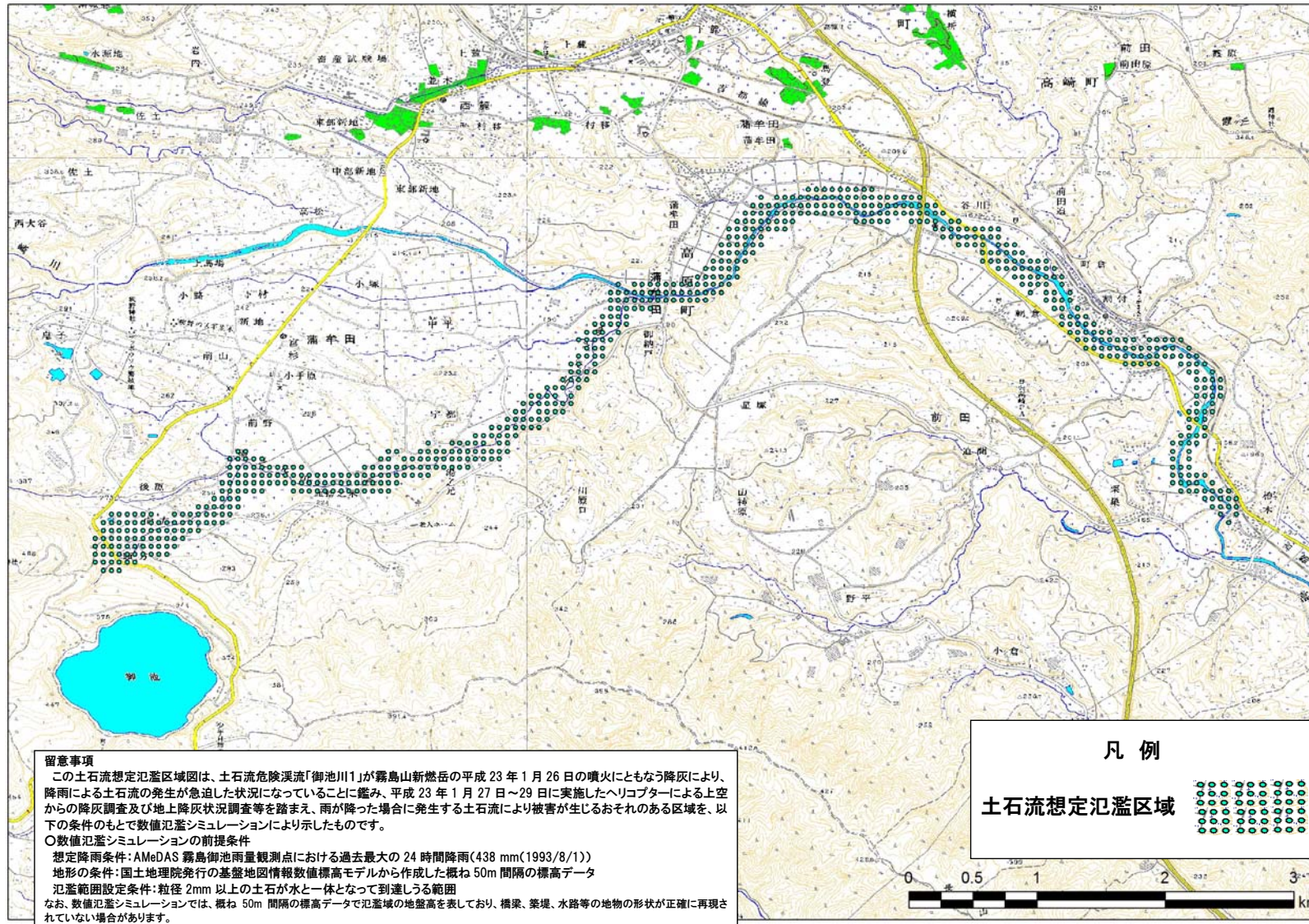
凡 例

土石流想定氾濫区域

留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険渓流「祓川」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

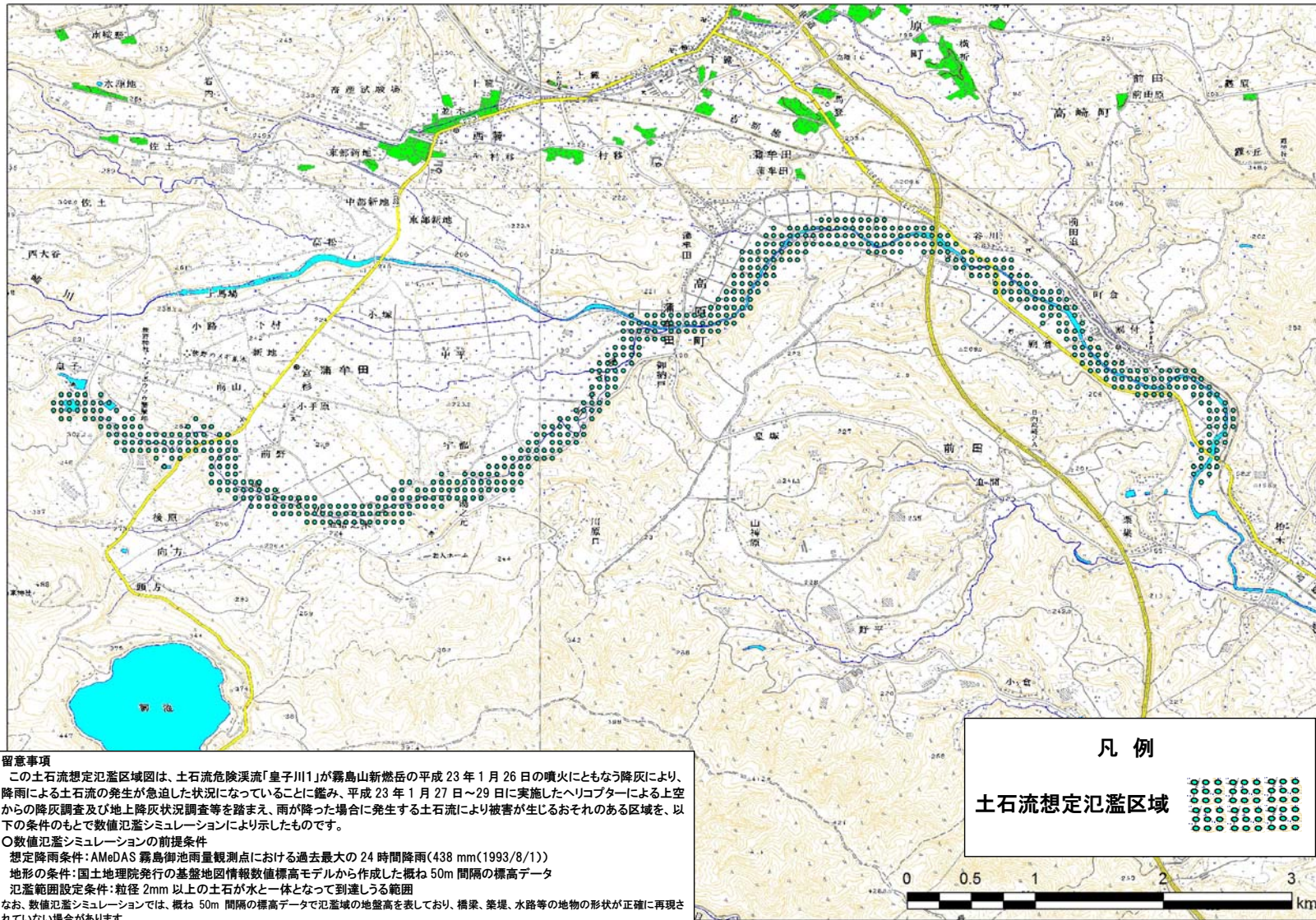
土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：御池川1（溪流番号：05-361-2-503）



土石流想定氾濫区域図

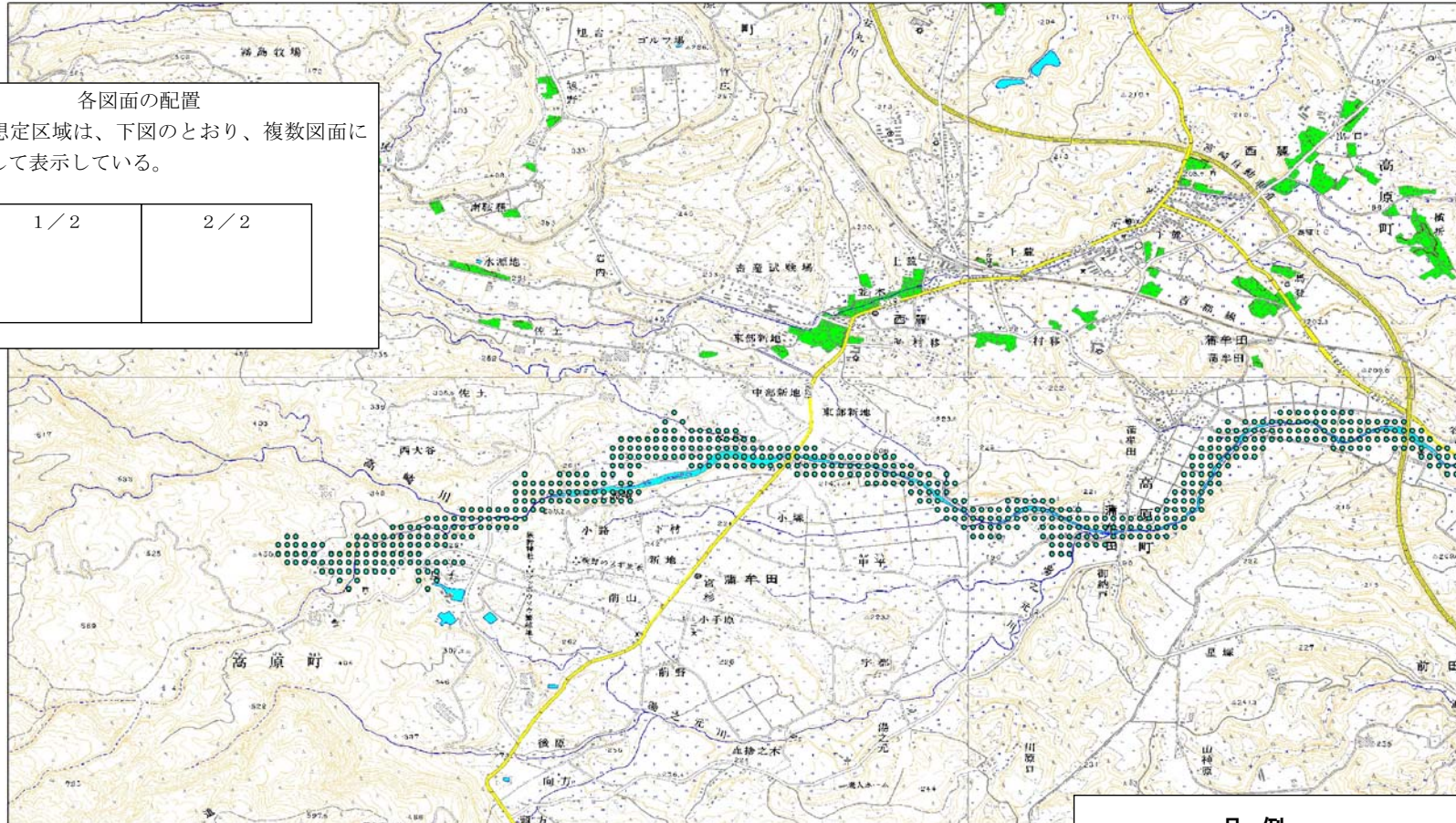
土石流危険溪流名：皇子川1（溪流番号：05-361-2-504）



土石流想定氾濫区域図

(1/2)

土石流危険溪流名：皇子川2（溪流番号：05-361-2-505）



各図面の配置

- 氾濫想定区域は、下図のとおり、複数図面に分割して表示している。

1 / 2	2 / 2
-------	-------

留意事項

この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「皇子川2」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴灰にともなう降雨により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。

○数値氾濫シミュレーションの前提条件

想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))

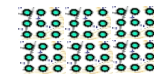
地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ

氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲

なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

凡例

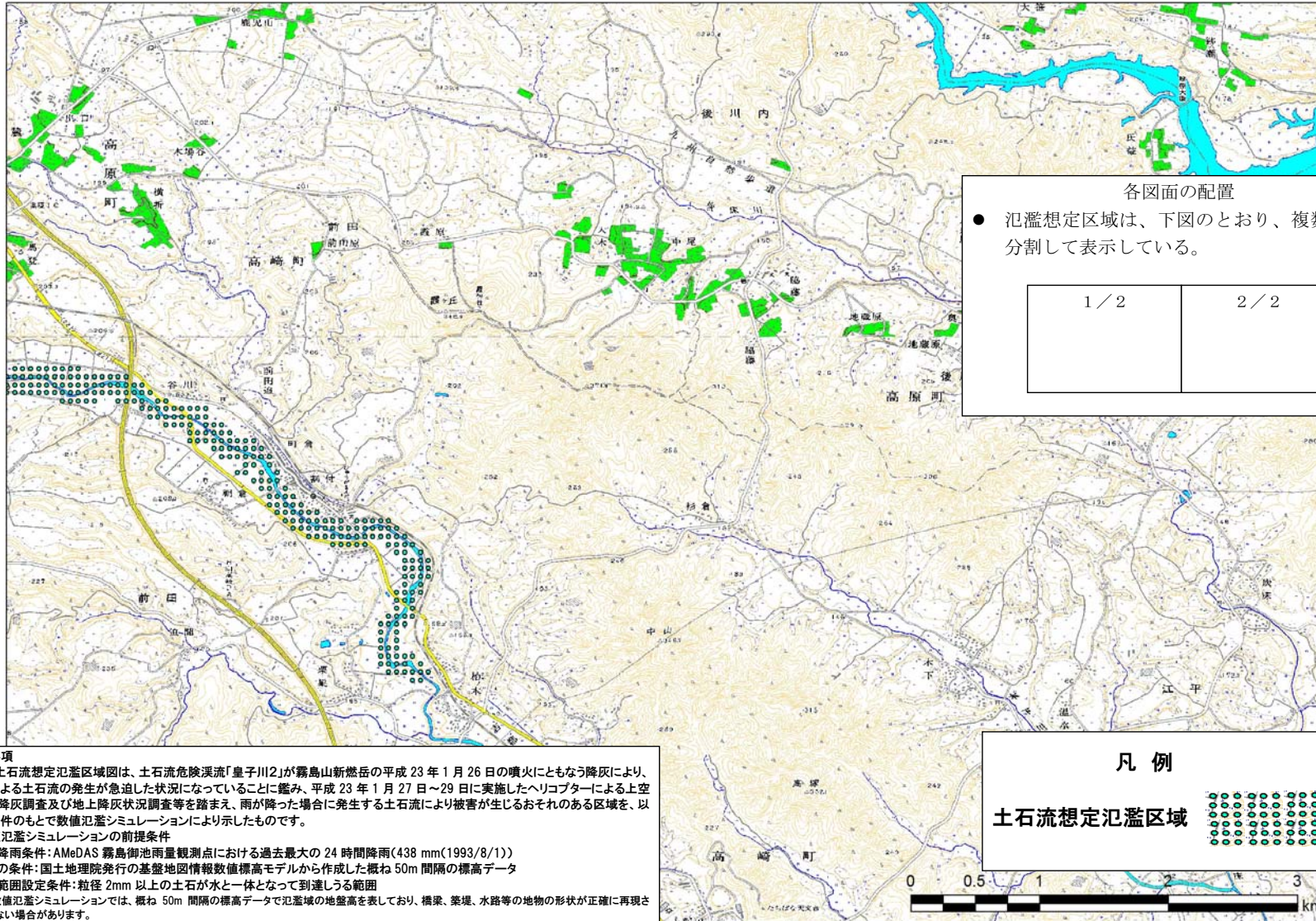
土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：皇子川2（溪流番号：05-361-2-505）

(2/2)



各図面の配置

- 氾濫想定区域は、下図のとおり、複数図面に分割して表示している。

1 / 2	2 / 2
-------	-------

留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「皇子川2」が霧島山新燃岳の平成23年1月26日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成23年1月27日～29日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の24時間降雨(438mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね50m間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径2mm以上の土石が水と一体となって到達する範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね50m間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

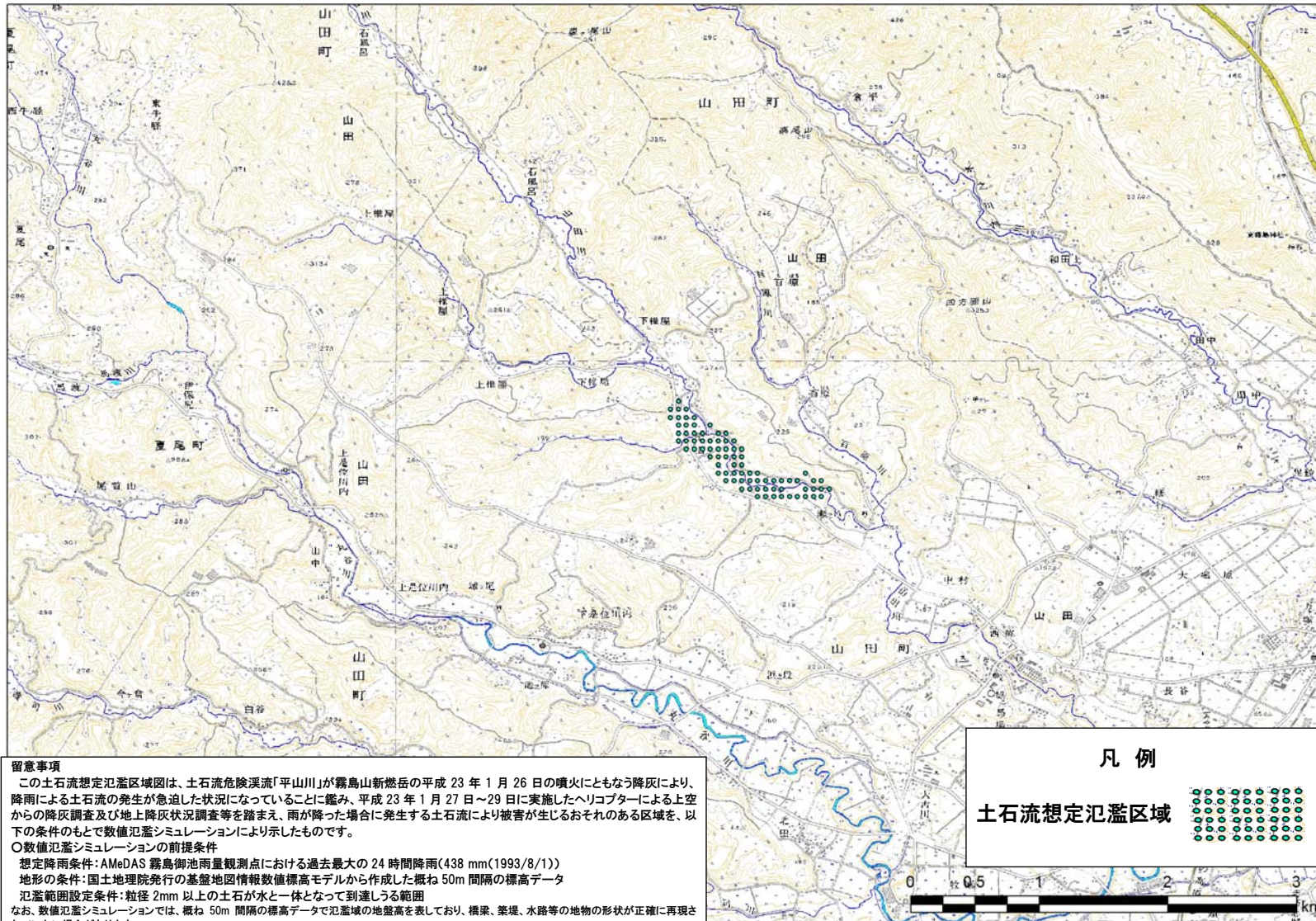
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：平山川（溪流番号：04-344-1-510）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「平山川」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AmeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

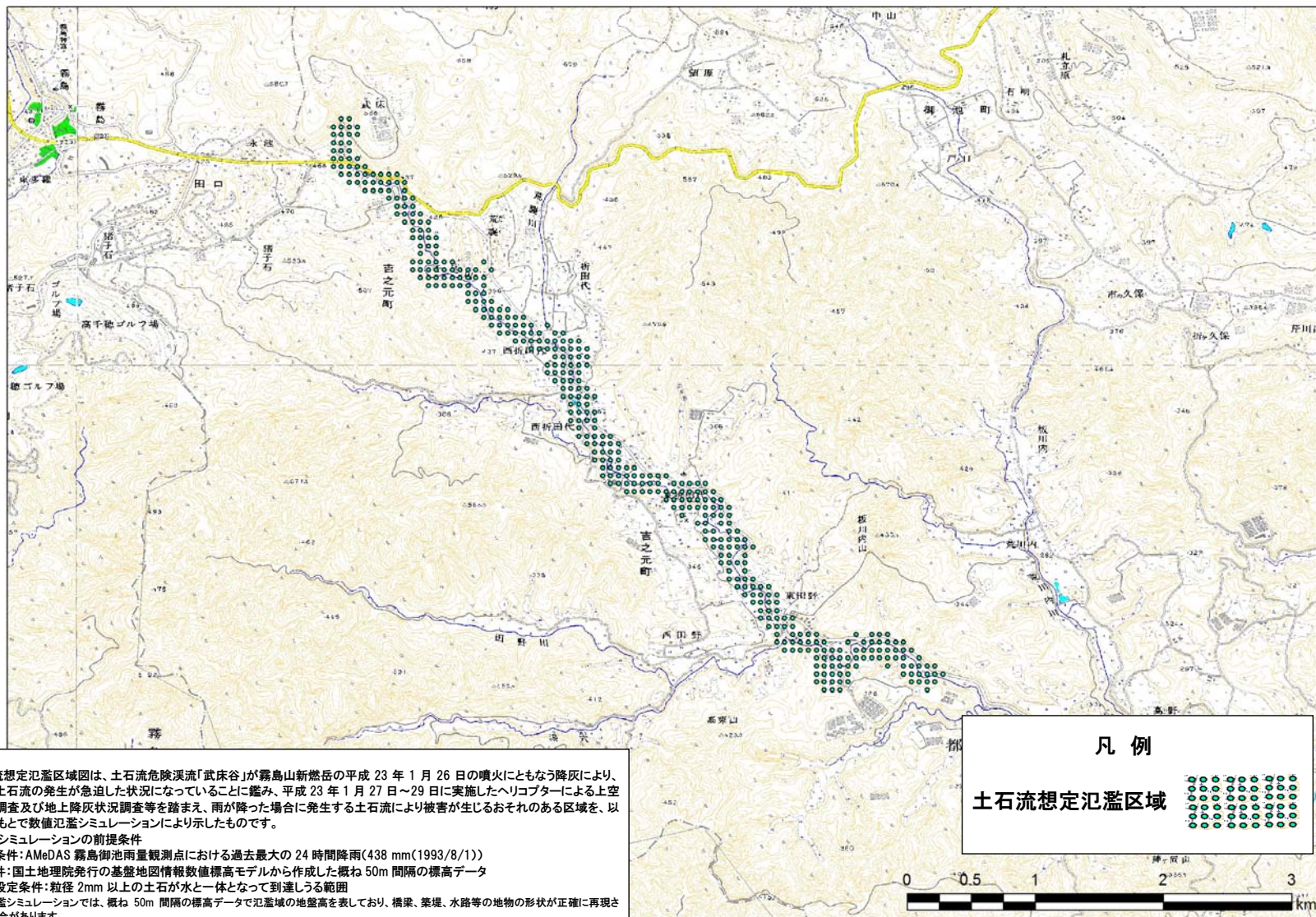
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：武床谷（溪流番号：04-202-2-014）



留意事項

この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「武床谷」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降雨により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。

○数値氾濫シミュレーションの前提条件

想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))

地形の条件：国土地理院発行の基礎地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ

氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲

なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

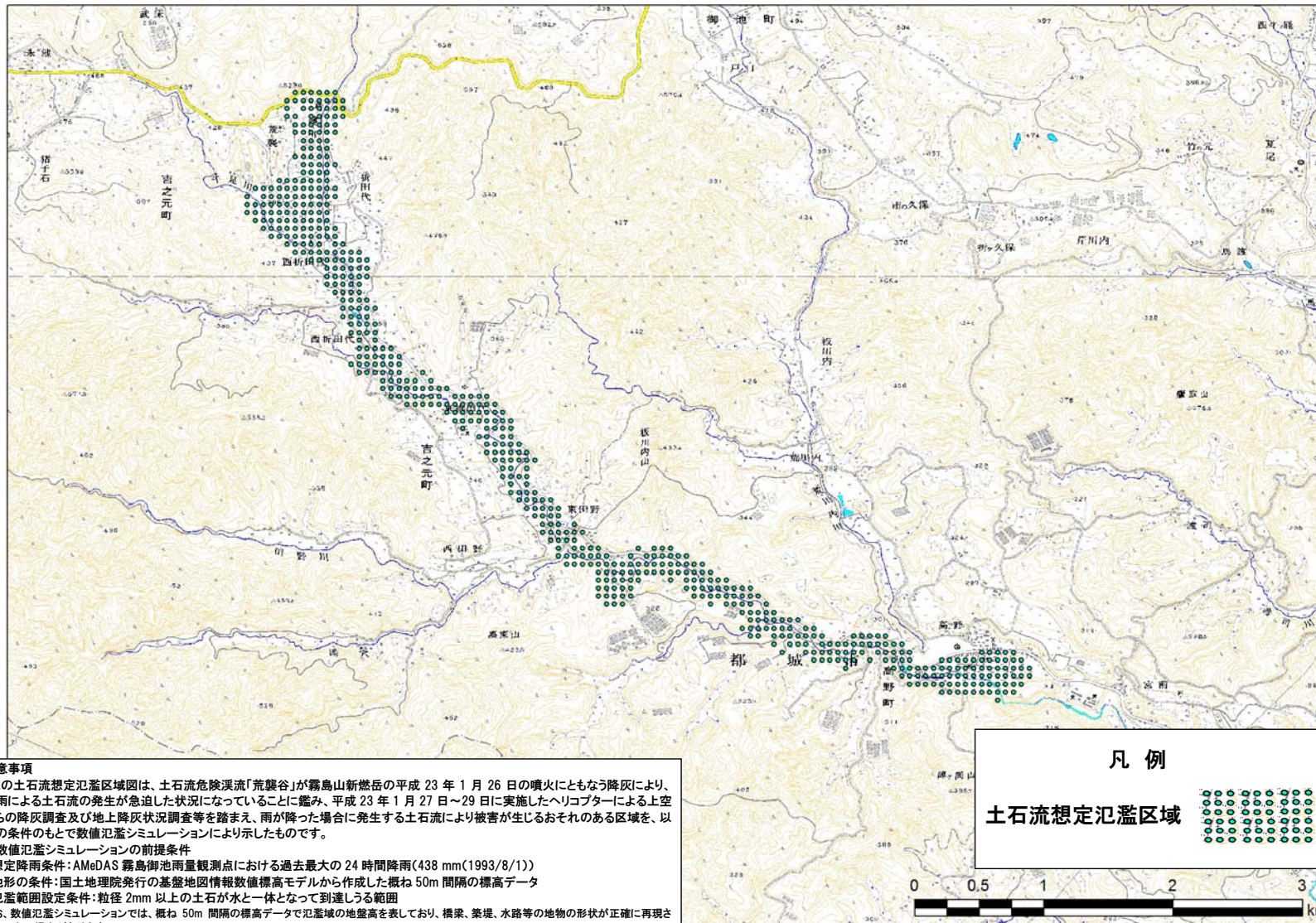
凡例

土石流想定氾濫区域



土石流想定氾濫区域図

土石流危険溪流名：荒襲谷（溪流番号：04-202-1-015）



留意事項
 この土石流想定氾濫区域図は、土石流危険溪流「荒襲谷」が霧島山新燃岳の平成 23 年 1 月 26 日の噴火にともなう降灰により、降雨による土石流の発生が急迫した状況になっていることに鑑み、平成 23 年 1 月 27 日～29 日に実施したヘリコプターによる上空からの降灰調査及び地上降灰状況調査等を踏まえ、雨が降った場合に発生する土石流により被害が生じるおそれのある区域を、以下の条件のもとで数値氾濫シミュレーションにより示したものです。
 ○数値氾濫シミュレーションの前提条件
 想定降雨条件：AMeDAS 霧島御池雨量観測点における過去最大の 24 時間降雨(438 mm(1993/8/1))
 地形の条件：国土地理院発行の基盤地図情報数値標高モデルから作成した概ね 50m 間隔の標高データ
 氾濫範囲設定条件：粒径 2mm 以上の土石が水と一体となって到達しうる範囲
 なお、数値氾濫シミュレーションでは、概ね 50m 間隔の標高データで氾濫域の地盤高を表しており、橋梁、築堤、水路等の地物の形状が正確に再現されていない場合があります。

凡例
 土石流想定氾濫区域

